

3章

各種アンケートの実施

3章 各種アンケートの実施

アンケート	目的
3-1 市民アンケート調査	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の外出実態及び移動ニーズの把握 ・公共交通を必要としている潜在需要層や地域ニーズの把握 ・市民が求めている公共交通の利用促進方策の把握
3-2 公共交通利用者アンケート調査	
・鉄道の利用者調査	<ul style="list-style-type: none"> ・利用実態及び改善すべきサービスを把握 ・現行サービス水準と利用ニーズとの乖離のある路線バス（区間、時間帯）の明確化
・高速バスの利用者調査	
・巡回バスの利用者調査	
・路線バスの利用者調査	
・市民病院シャトルバスの利用者調査	
・患者輸送車（みどり号）の利用者調査	
・スクールバスの利用者調査	
3-3 交通事業者、その他の関係団体アンケート調査	
・交通事業者への調査	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者目線の公共交通の定性的な問題点・課題、見直しに当たって留意すべき点の把握
・関係団体等への調査	
3-4 高校生アンケート調査	<ul style="list-style-type: none"> ・通学時の交通手段の把握及び公共交通への転換可能性の把握
3-5 市内企業アンケート調査	
・企業への調査	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎バスの活用可能性の把握
・従業員への調査	<ul style="list-style-type: none"> ・従業員における通勤時の利用交通手段及び公共交通への転換可能性の把握
3-6 集客施設事業者アンケート調査	<ul style="list-style-type: none"> ・連携及び協働取組みの可能性の把握 ・送迎バスの活用可能性の把握

3-1 市民アンケート調査

公共交通に関する利用状況や利用意向、将来の方向性などについて把握し、これからの公共交通のあり方を検討する上での基礎資料とするため、市民アンケート調査を行いました。

調査対象者	市内在住 16 歳以上の市民 3,000 人（無作為抽出）																					
調査方法	郵送配布、郵送回収 ※回収期間 令和 4 年 11 月 2 日（水）～12 月 22 日（木）																					
調査項目	<p>①回答者の属性 ：住まい、性別、年齢、職業、自動車運転免許証有無、運転免許証返納意向、返納しない理由、自動車所有状況、最寄りバス停までの所要時間</p> <p>②日常の移動のしやすさ ：外出する時に交通手段がなくて困ることの有無とその目的、行き先、対応</p> <p>③日常生活の移動実態【目的別（買物、通院、通勤・通学）】 ：外出頻度、外出時の主な行き先、利用交通手段</p> <p>④鉄道の利用実態と意識・要望 ：利用頻度、利用駅、利用目的、利用しない理由、運行サービスに対する満足度</p> <p>⑤巡回バスの利用実態と意識・要望 ：利用頻度、利用目的、利用しない理由、運行サービスに対する満足度</p> <p>⑥高速バスの利用実態と意識・要望 ：利用頻度、利用目的、利用しない理由、運行サービスに対する満足度</p> <p>⑦路線バスの利用実態と意識・要望 ：利用頻度、利用目的、利用しない理由、運行サービスに対する満足度</p> <p>⑧タクシーの利用実態と意識・要望 ：利用頻度、利用目的、運行サービスに対する満足度</p> <p>⑨公共交通の今後のあり方 ：今後の方向性、効果的な公共交通の利用促進策</p>																					
回収状況	<p>回収票数：1,248 件（回収率：41.6%）</p> <table border="1" data-bbox="367 1411 782 1792"> <thead> <tr> <th>地区(町)名</th> <th>回収票数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平潟町</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>大津町</td> <td>134</td> </tr> <tr> <td>関本町</td> <td>108</td> </tr> <tr> <td>関南町</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>磯原町</td> <td>322</td> </tr> <tr> <td>華川町</td> <td>116</td> </tr> <tr> <td>中郷町</td> <td>432</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>市合計</td> <td>1,248</td> </tr> </tbody> </table>	地区(町)名	回収票数	平潟町	55	大津町	134	関本町	108	関南町	80	磯原町	322	華川町	116	中郷町	432	無回答	1	市合計	1,248	
地区(町)名	回収票数																					
平潟町	55																					
大津町	134																					
関本町	108																					
関南町	80																					
磯原町	322																					
華川町	116																					
中郷町	432																					
無回答	1																					
市合計	1,248																					

(1) 回答者の属性

回答者の性別はほぼ同程度で、年齢は50歳以上が76.3%を占めています。

職種は「会社員・公務員(27.6%)」、「無職(30.0%)」が多くなっています。

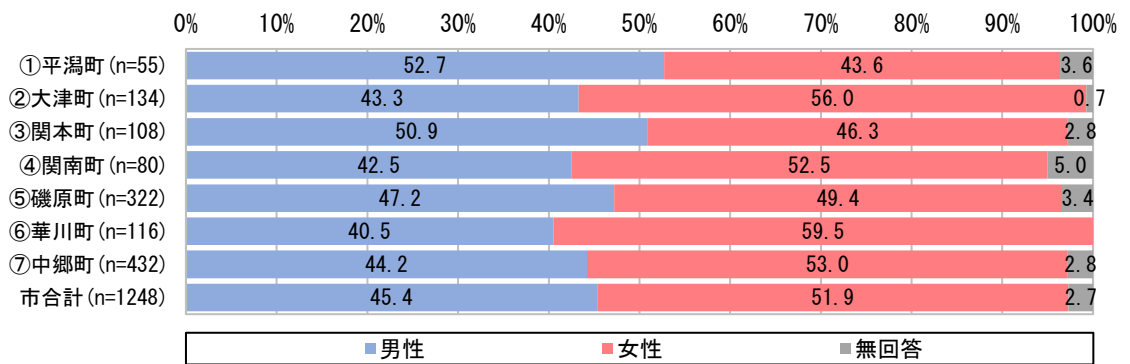
自動車運転免許証有無は、「ある」が80.4%、「ない」が15.5%、「運転免許証返納済」が3.4%となっており、年齢別に見ると、10歳代や70歳以上で「ない」の割合が多くなっています。

運転免許証返納意向は、「今は返納するつもりはないが、将来は返納する」が42.2%となっていて、返納しない理由は、「車がないと日常生活が不便なため」が80.1%を占めています。

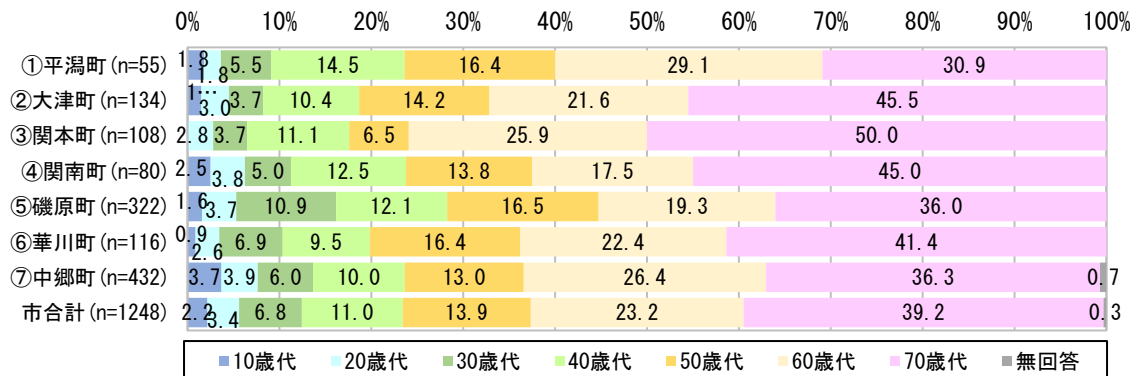
自動車の所有状況は「自動車あり(自分が自由に使える)」が76.5%と最も多く、次いで「自動車あり(自分が自由に使えない)」が5.7%を占めています。

最寄りのバス停までの所要時間は、「5分未満」が38.9%と最も多く、次いで「5~10分未満」が22.8%を占め、10分未満の回答が過半数を占めています。

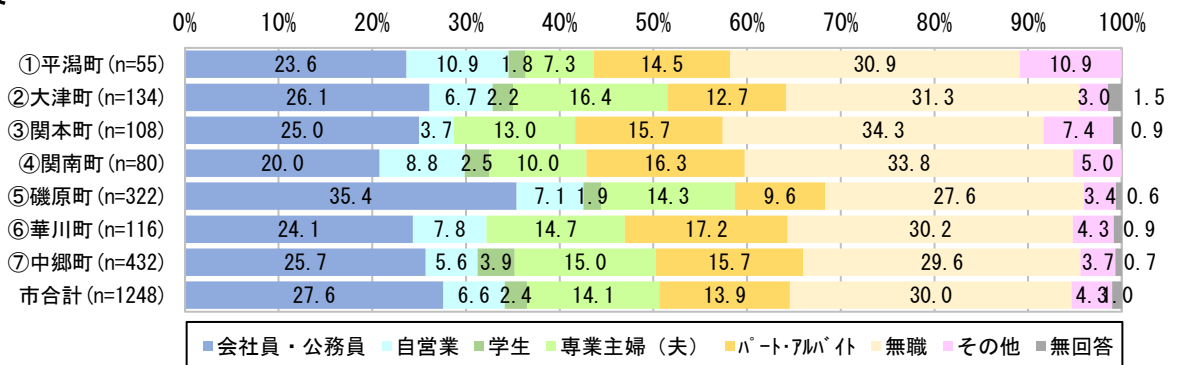
■性別



■年齢

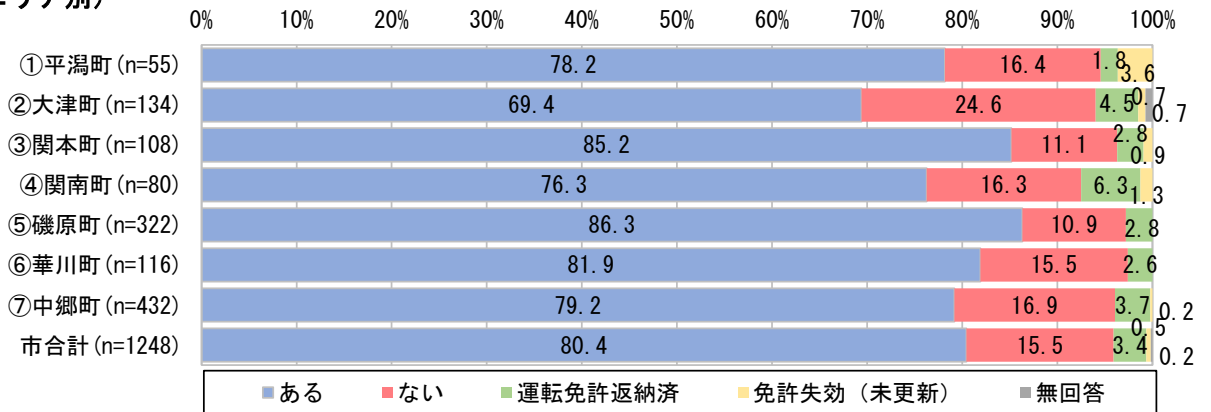


■職業

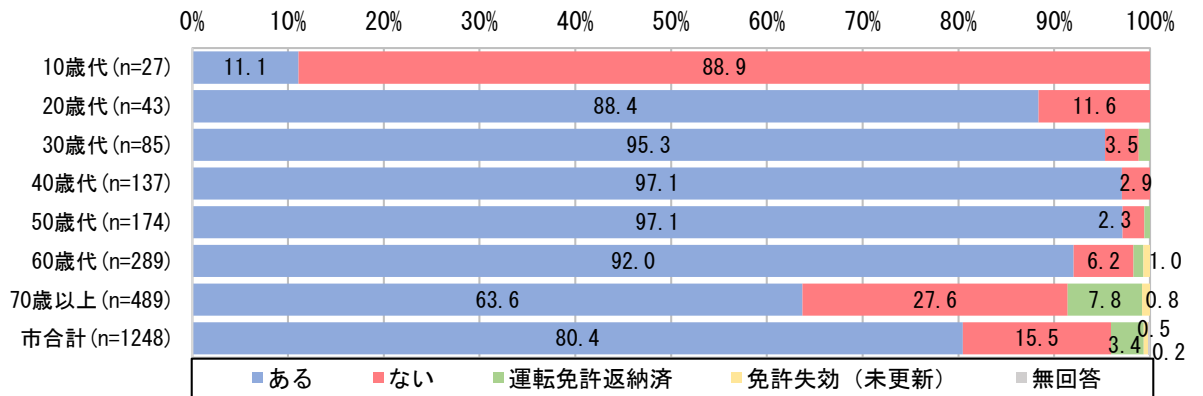


■自動車運転免許証有無

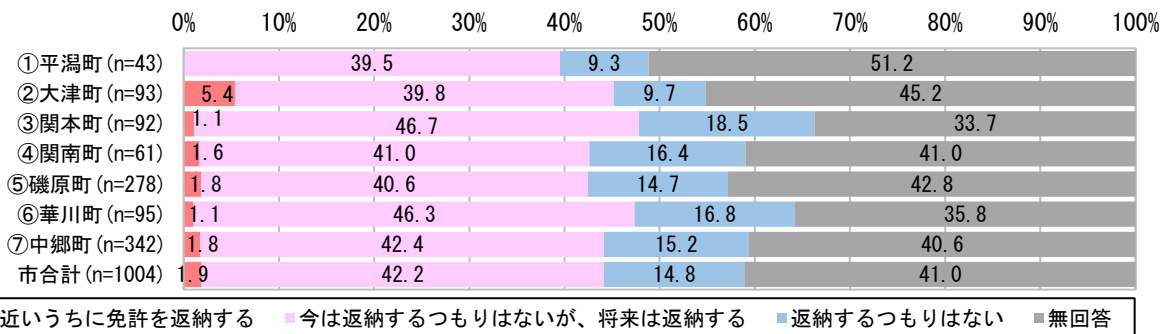
(エリア別)



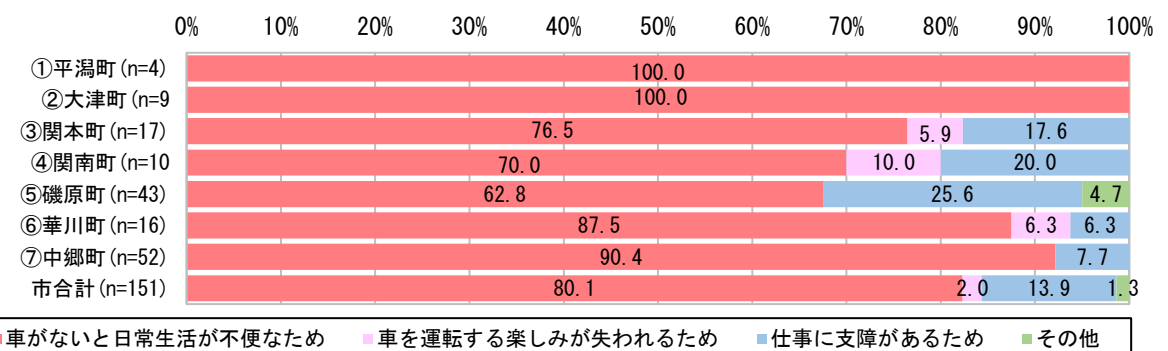
(年齢別)



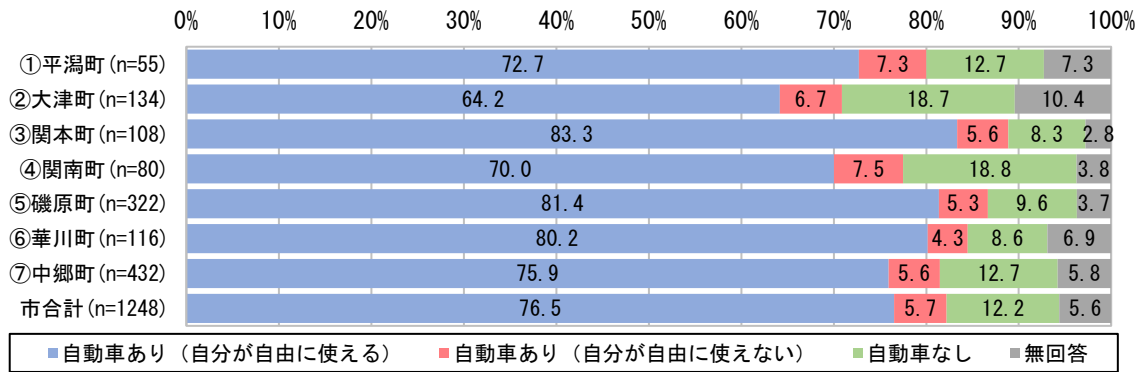
■運転免許証返納意向



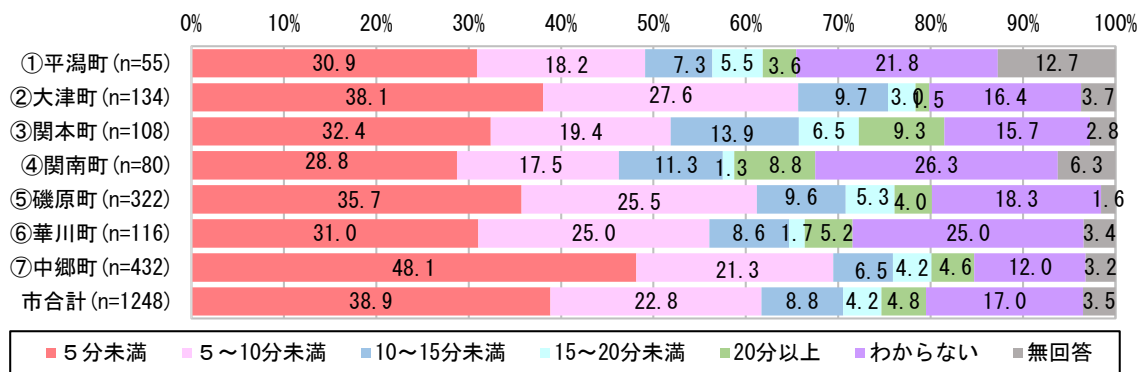
■返納しない理由



■自動車の所有状況



■最寄りのバス停までの所要時間



(2) 日常の移動のしやすさ

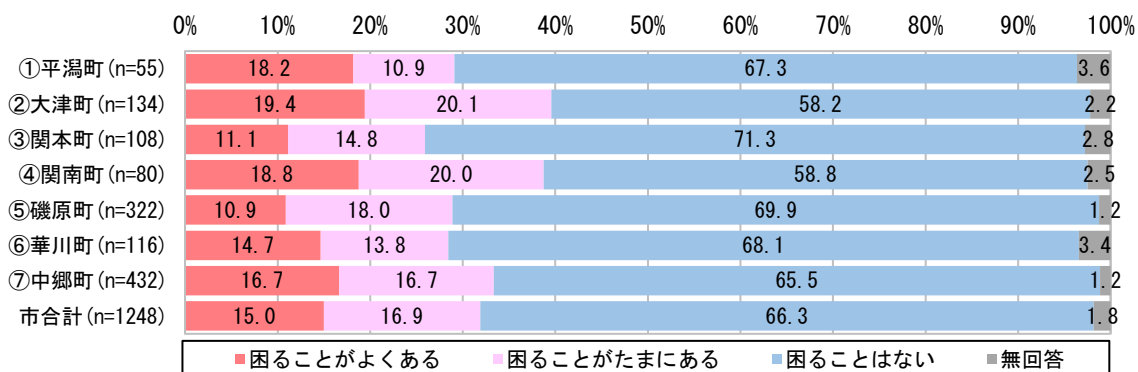
① 困り具合

外出時に「困ることがよくある」と「困ることがたまにある」と回答した方の合計は31.9%となっています。

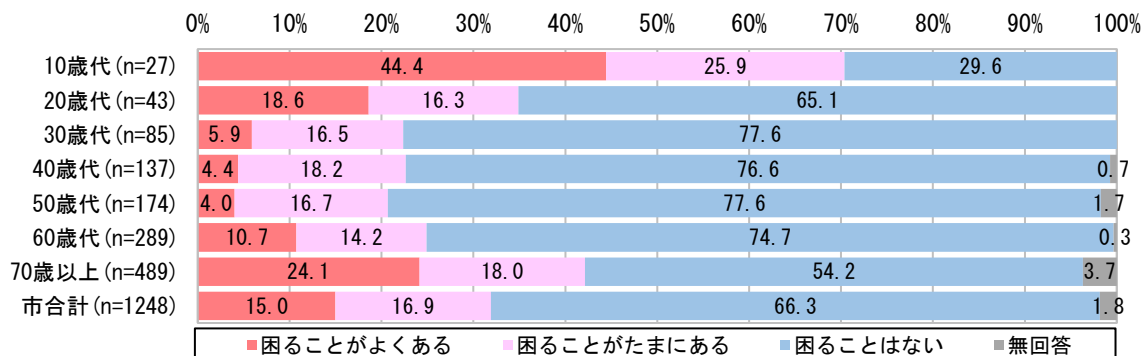
年齢別や職業別に見ると、10歳代の学生と70歳以上で、また、自動車運転免許証有無別に見ると、無い方が困っている人の割合が多くなっています。

■ 外出の際に困ることの有無

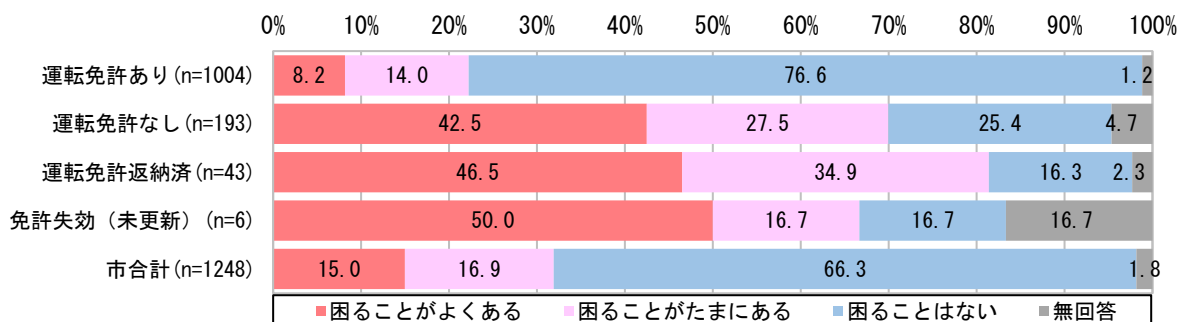
(地区別)



(年齢別)



(運転免許有無別)

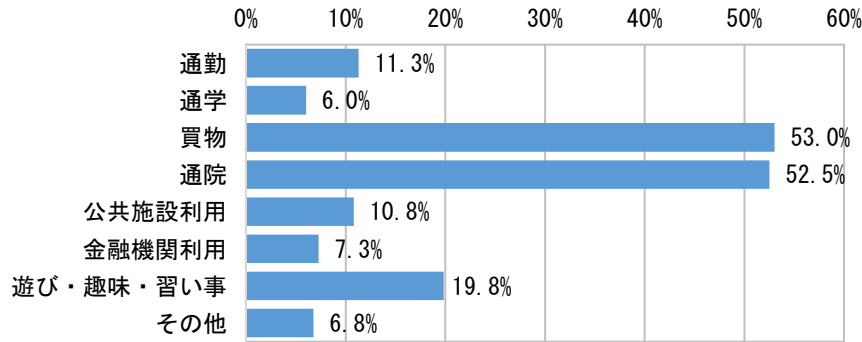


②困っている時の状況

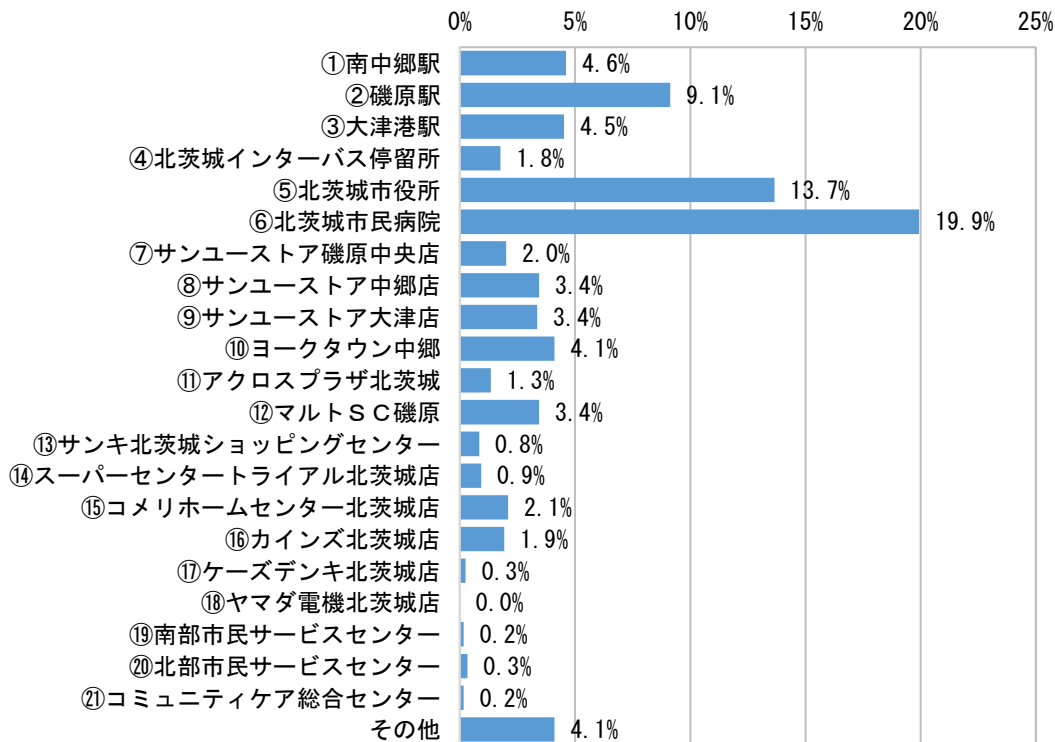
困っている時の移動目的は、「買物（53.0%）」「通院（52.5%）」及び「遊び・趣味・習い事など（19.8%）」の順で多くなっています。

困っている時の行き先は、「北茨城市民病院」が19.9%と最も多く、次いで「北茨城市役所」「磯原駅」の順で多くなっています。

■ 困っている時の移動目的（n=398）（2つまで選択）



■ 困っている時の行き先（n=398）（3つまで選択）



(3) 日常の外出行動

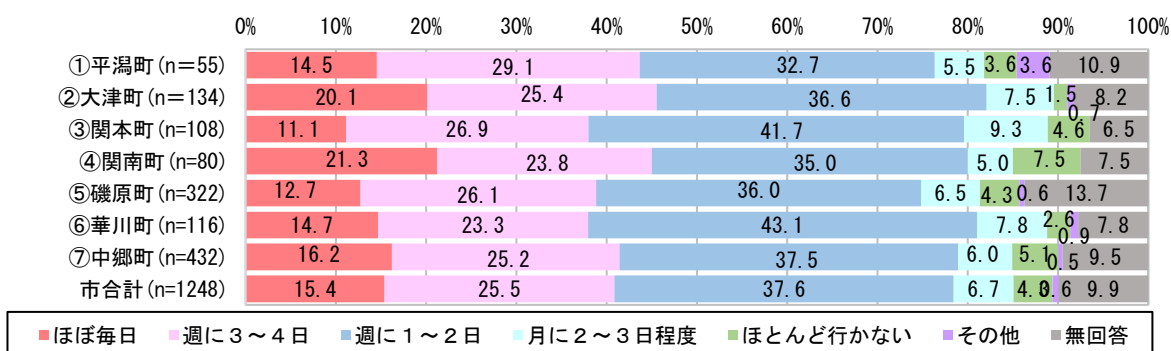
①買物

買物に行く頻度は「週に1～2日(37.6%)」、「週に3～4日(25.5%)」が多くなっています。

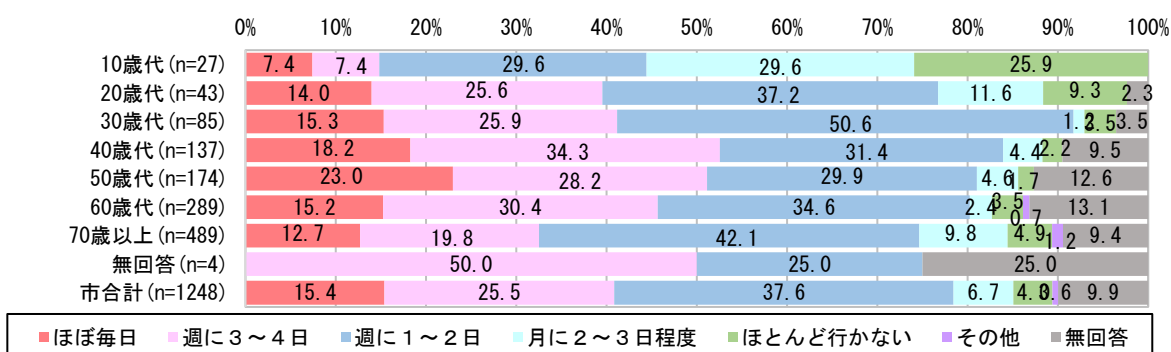
買物先は平潟町、大津町、関本町、関南町では「サンユーストア大津店」が最も多く、磯原町、華川町では「サンユーストア磯原中央店」、中郷町では「ヨークタウン中郷店」が最も多くなっています。

また、利用交通手段は「自家用車」が全体では75.0%と多いが、年齢別に見ると、70歳以上の高齢になっても「自家用車」が過半数を占めています。

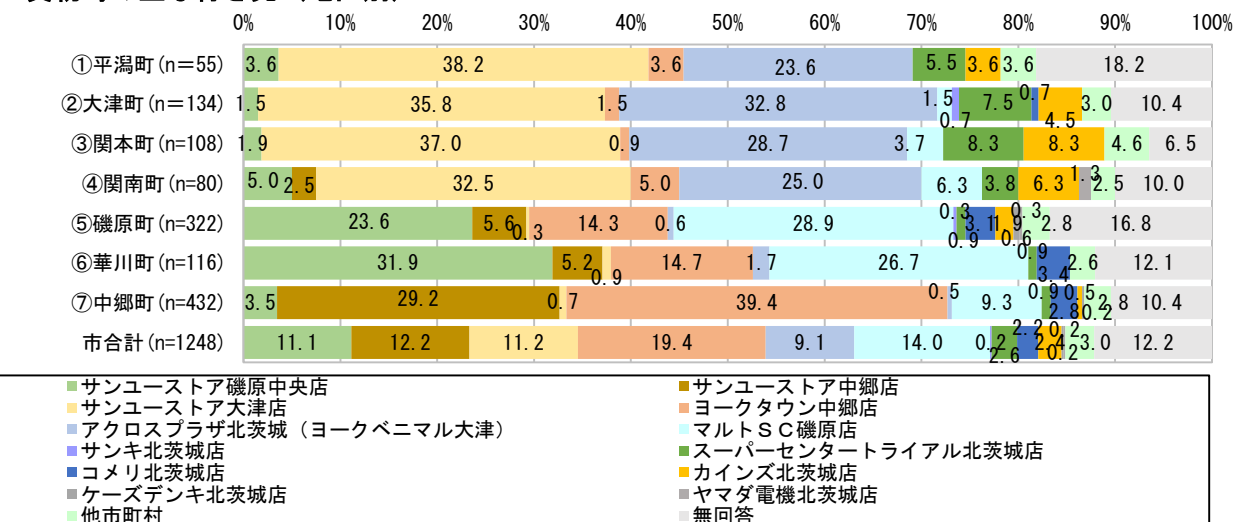
■買物に行く頻度(地区別)



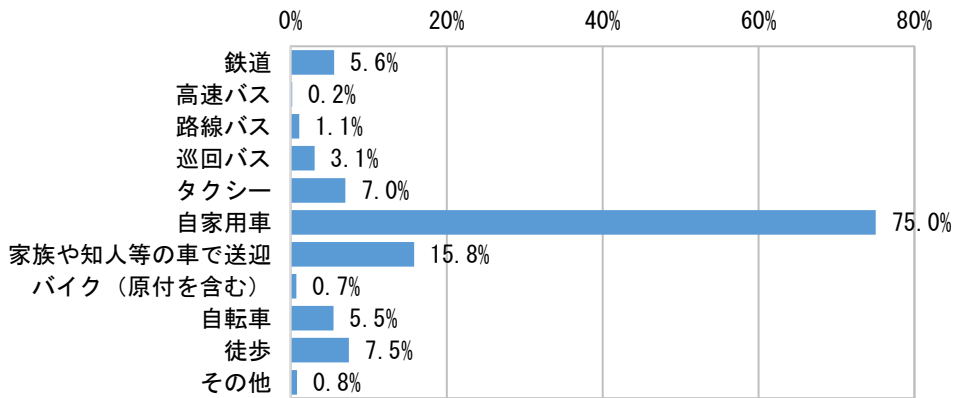
■買物に行く頻度(年齢別)



■買物時の主な行き先(地区別)



■買物に行く時の利用交通手段（n=1248）（該当するものすべて選択）



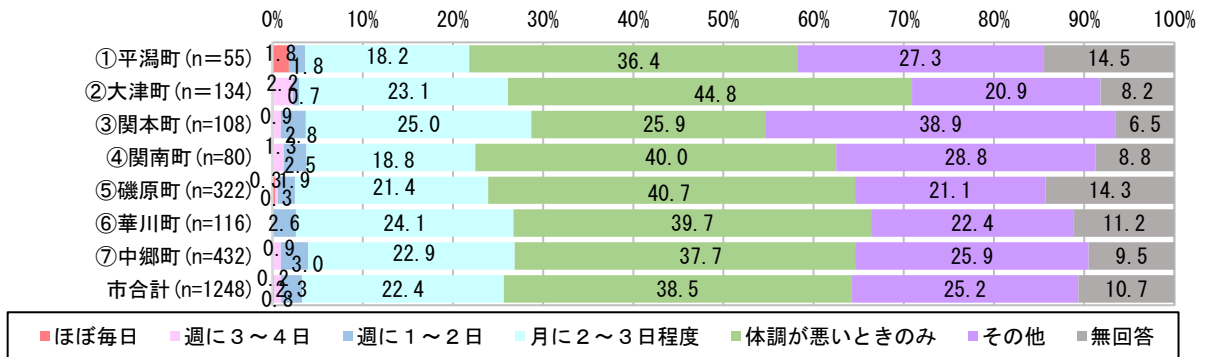
②通院

病院に行く頻度は「体調が悪いときのみ（38.5%）」、「月に2～3日程度（22.4%）」が多くなっています。

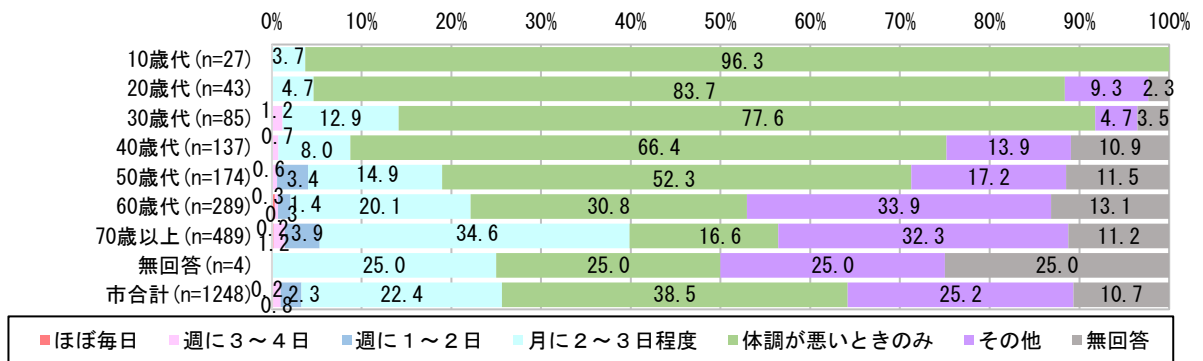
通院時の主な行き先は「北茨城市民病院」が36.0%、「その他市内」が23.6%となっています。

利用交通手段は「自家用車（74.9%）」が多く、「家族や知人等の車で送迎」が20.3%となっています。

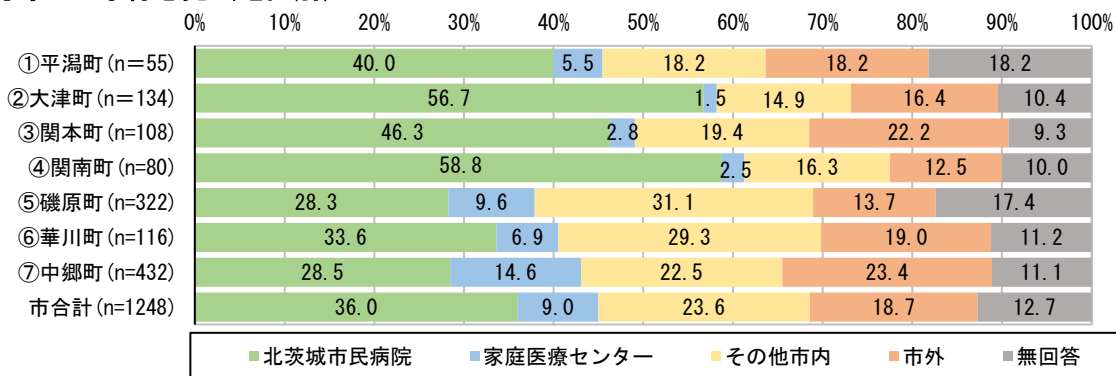
■病院に行く頻度（地区別）



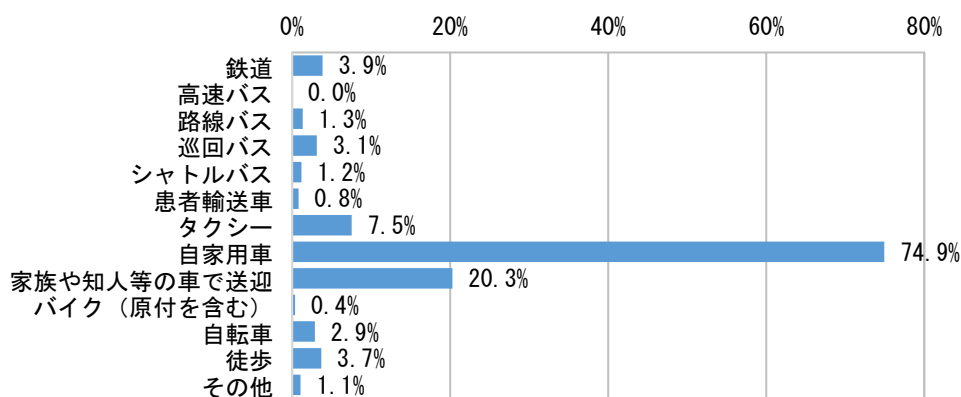
■病院に行く頻度（年齢別）



■通院時の主な行き先（地区別）



■通院時の利用交通手段（n=1248）（該当するものすべて選択）

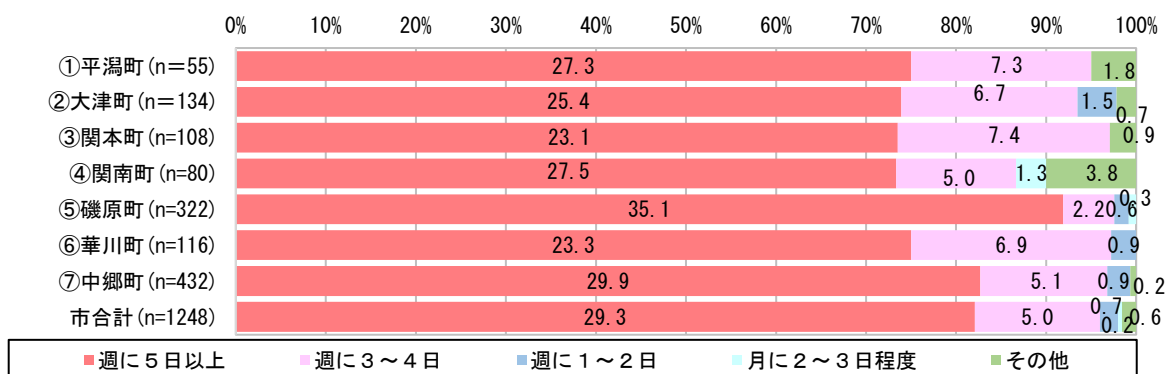


③通勤・通学

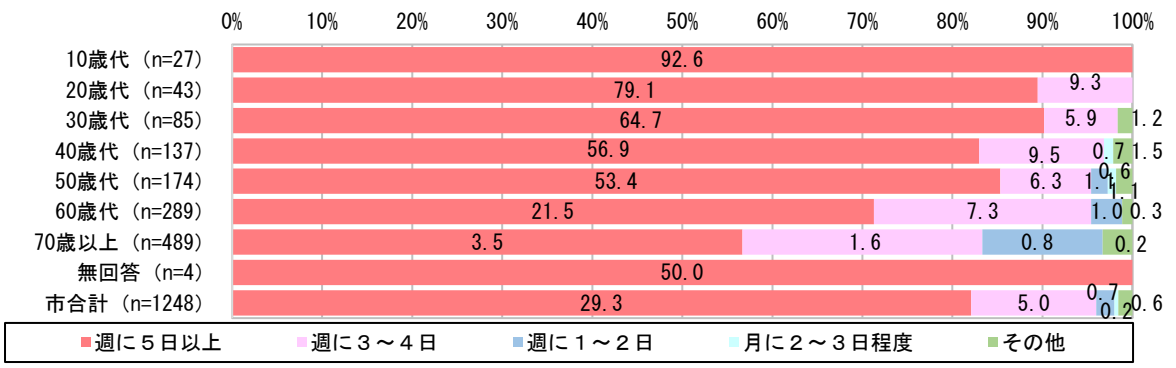
通勤・通学する方の主な行き先として「市内」が19.7%と最も多く、次いで茨城県内が12.1%となっています。

通勤・通学時の利用交通手段は「自家用車（80.2%）」が最も多く、「鉄道」は14.3%となっています。

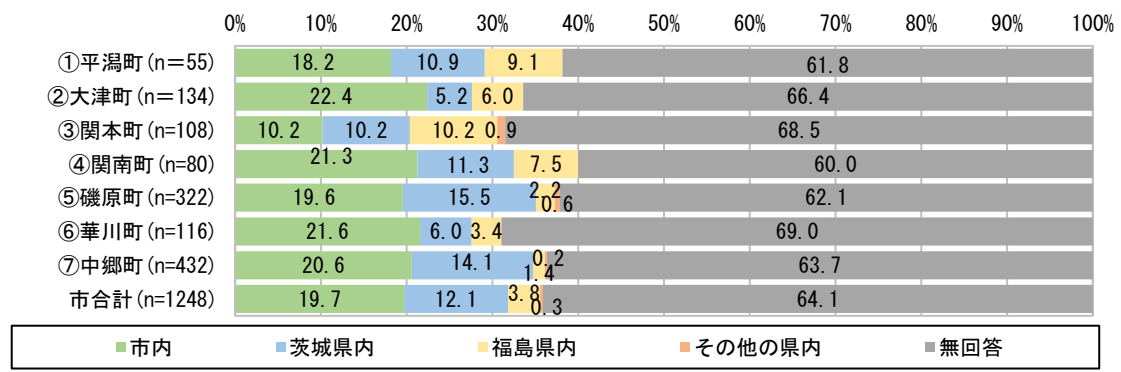
■通勤・通学の頻度（地区別）



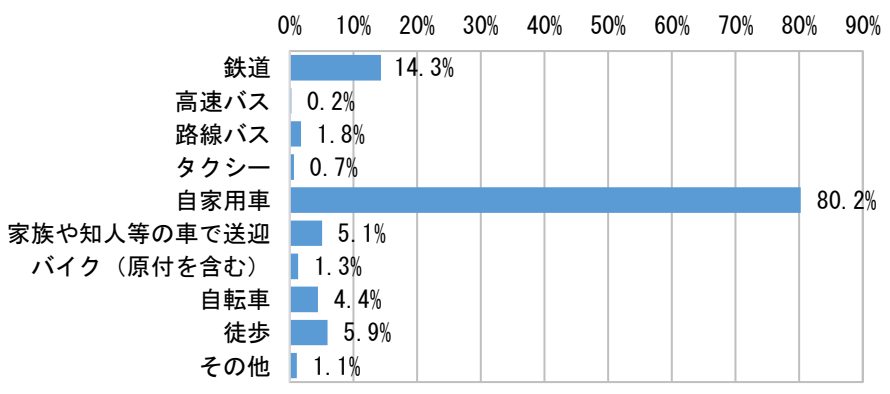
■通勤・通学の頻度（年齢別）



■通勤・通学時の主な行き先（地区別）



■通勤・通学時の利用交通手段（n=455）（該当するものすべて選択）



(4) 鉄道（JR常磐線）の利用実態と意識・要望

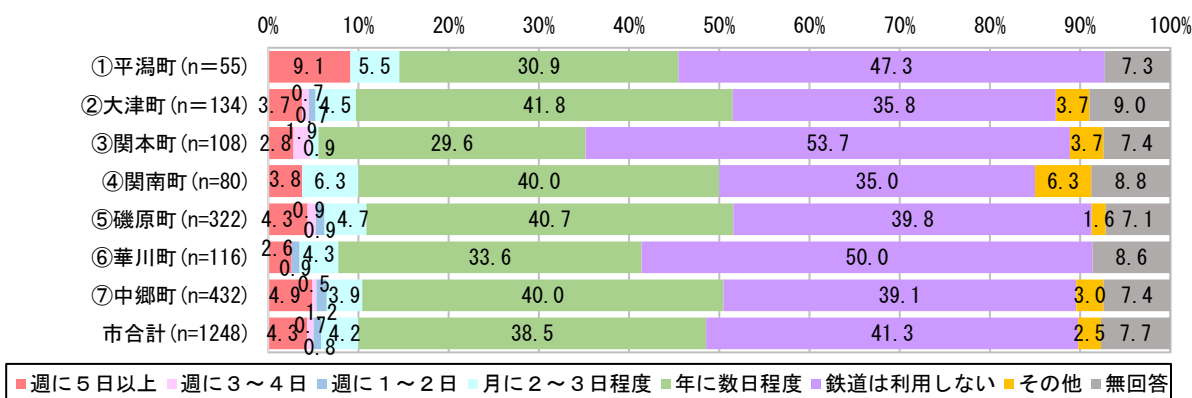
鉄道は48.5%の方が利用しており、利用頻度は「年に数日程度（38.5%）」と低頻度の利用割合が多く、その利用目的は、「遊び・趣味・習い事など（52.7%）」、「買物（17.2%）」が多くなっています。

利用する駅は、「JR磯原駅（51.3%）」、「JR大津港駅（24.0%）」が多くなっています。

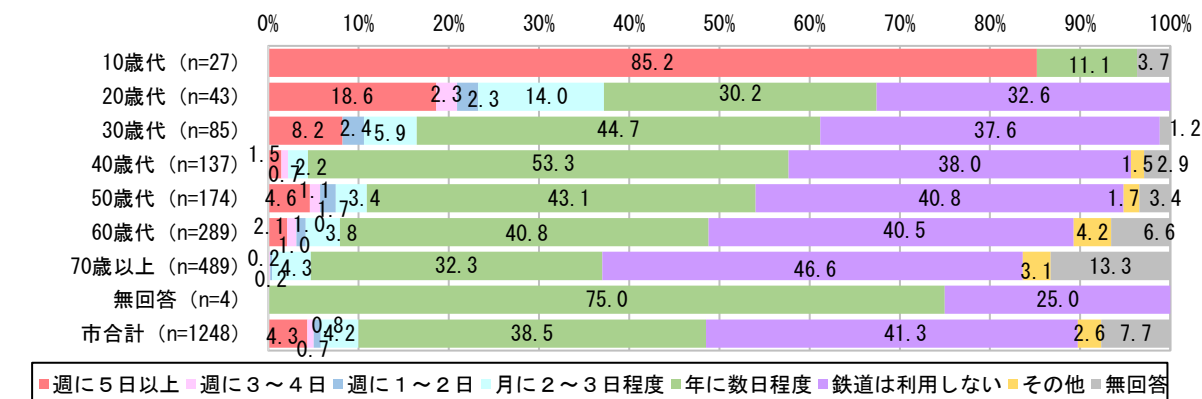
鉄道を利用しない理由は、「自動車のほうが便利だから」が68.0%と最も多く、次いで「利用する用事が特にないから」が62.7%となっています。

運行サービスに対する満足度（鉄道利用者）は、「時刻表・路線図などの運行情報案内」「駅舎の快適さ（バリアフリーなど）」で「満足」と「やや満足」と回答した方が多いものの、「運行本数・運行時間帯」「鉄道・バスとの乗り継ぎのしやすさ」で「不満」と「やや不満」と回答した方が多くなっています。

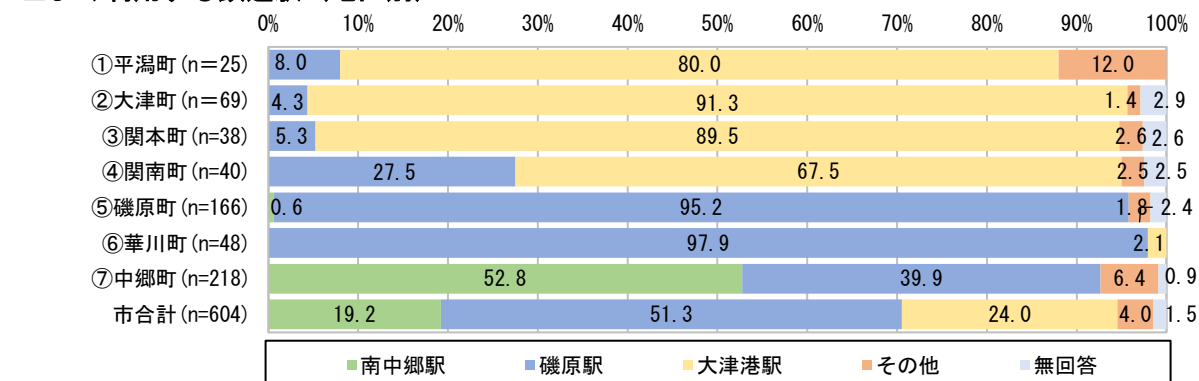
■鉄道の利用頻度（地区別）



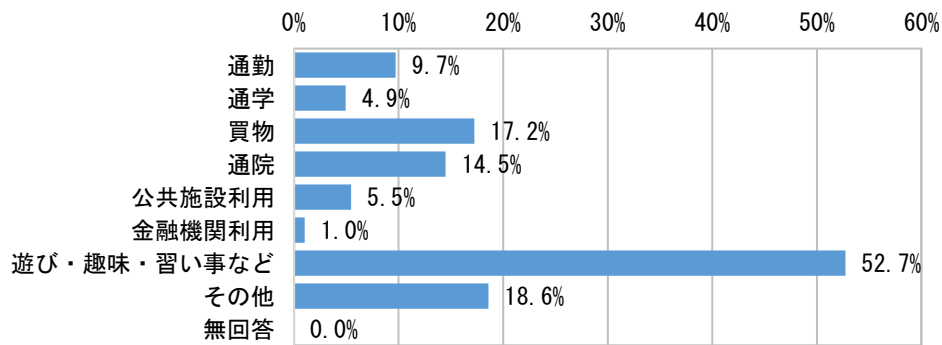
■鉄道の利用頻度（年齢別）



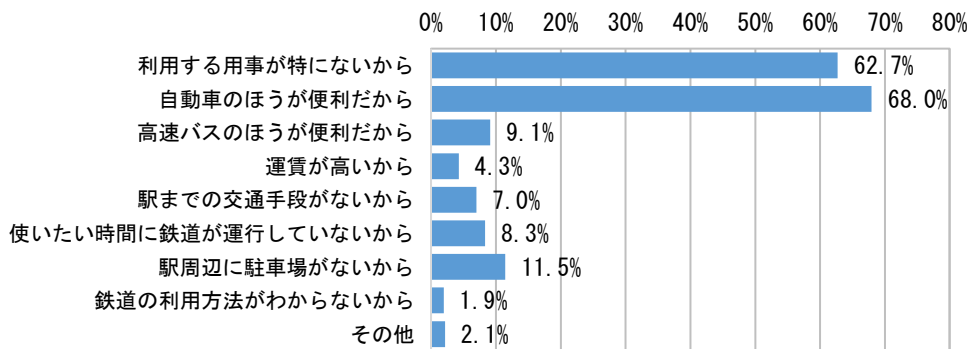
■よく利用する鉄道駅（地区別）



■鉄道の利用目的 (n=586) (2つまで選択)

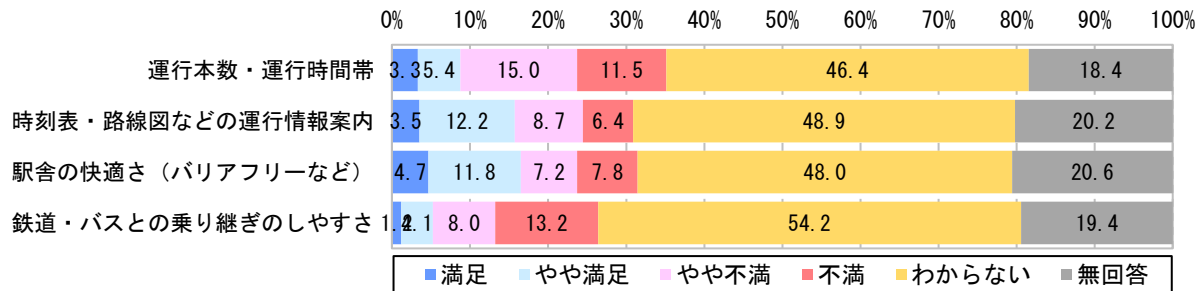


■鉄道を利用しない理由 (n=515) (3つまで選択)



■鉄道の運行サービスに対する満足度

【鉄道利用者 (n=605)】



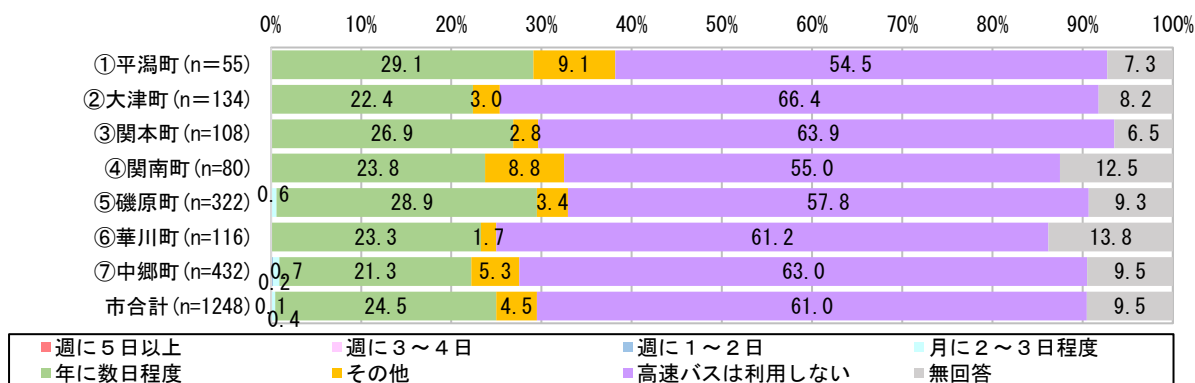
(5) 高速バスの利用実態と意識・要望

高速バスは29.5%の方が利用しており、利用頻度は「年に数日程度」が24.5%と低頻度の利用割合が多く、利用目的は「遊び・趣味・習い事など(83.7%)」、「買物(15.7%)」が多くなっています。

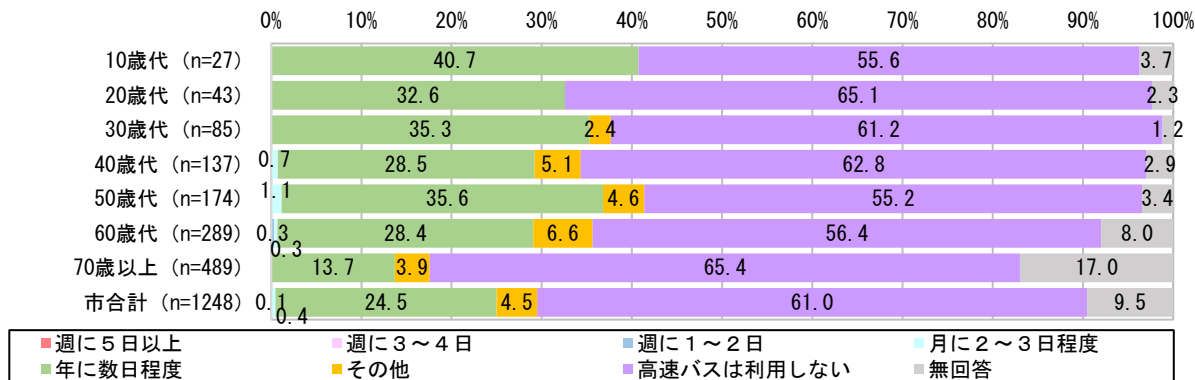
高速バスを利用しない理由は、「高速バスを利用する用事が特にないから」が70.2%と最も多く、次いで「自動車のほうが便利だから」が49.4%となっています。

運行サービスに対する満足度(高速バス利用者)は、「専用駐車場の利用しやすさ」「運行ルート」で「満足」と「やや満足」と回答した方の割合が多く、「運行本数・運行時間帯」で「不満」と「やや不満」と回答した方の割合が多くなっています。

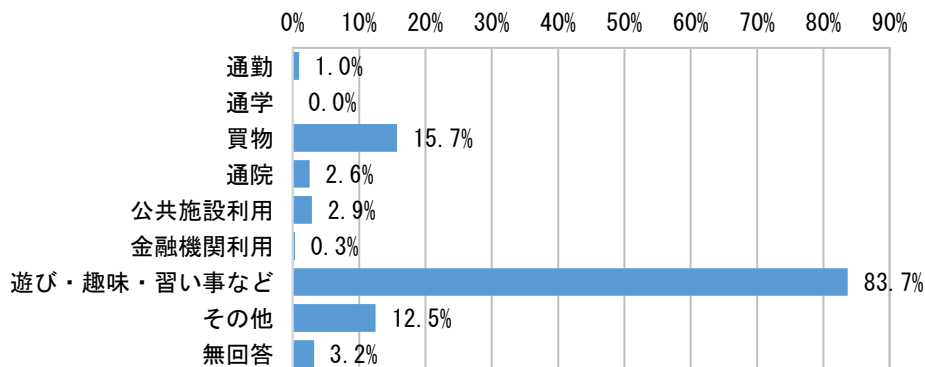
■高速バスの利用頻度(地区別)



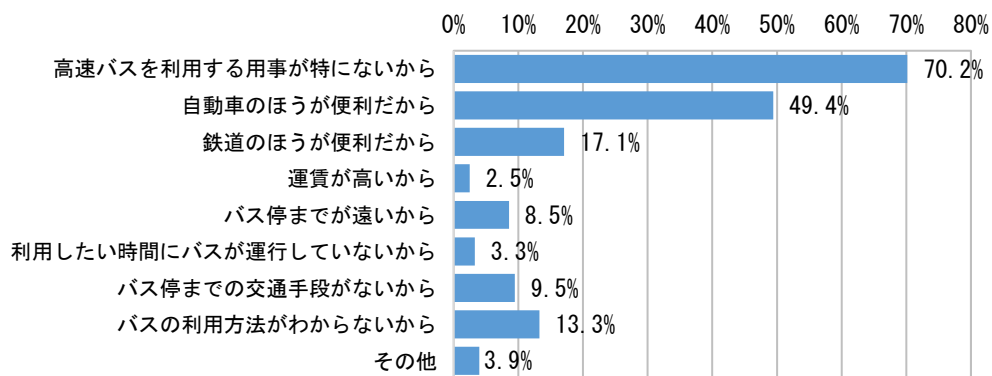
■高速バスの利用頻度(年齢別)



■高速バスの利用目的 (n=312) (2つまで選択)

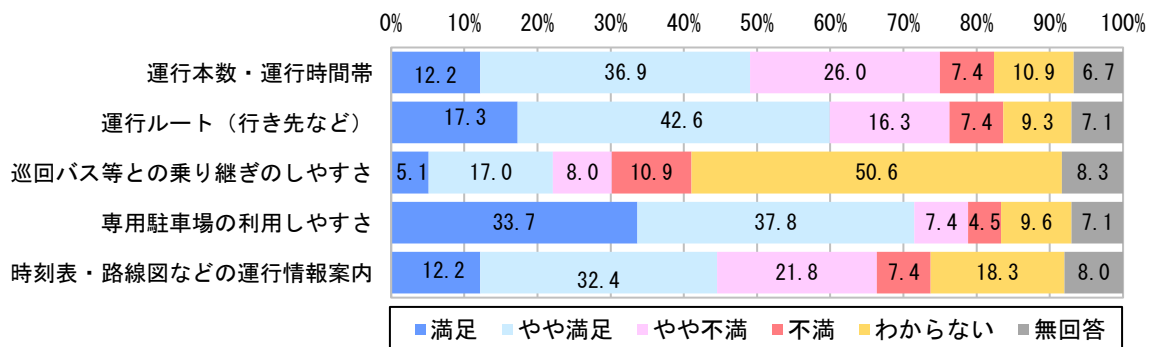


■高速バスを利用しない理由 (n=761) (3つまで選択)



■高速バスの運行サービスに対する満足度

【高速バス利用者 (n=312)】



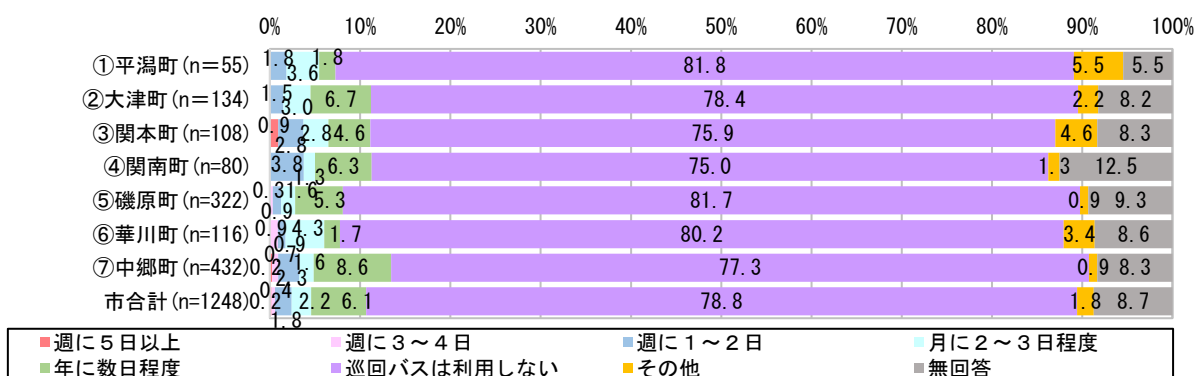
(6) 巡回バスの利用実態と意識・要望

巡回バスは10.7%の方が利用しており、利用頻度は「年に数日程度」が6.1%と最も多くなっています。利用目的は、「通院(45.1%)」、「買物(37.6%)」の順で多くなっています。

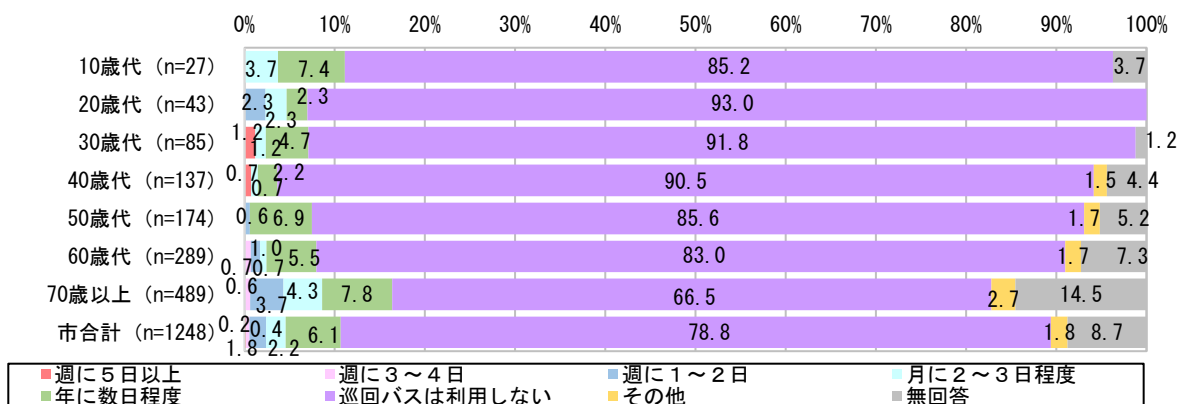
利用しない理由は、「自動車のほうが便利だから」が73.7%と最も多いが、「利用する用事がないから(46.1%)」といった理由で利用していない方もいます。

運行サービスに対する満足度(巡回バス利用者)は、「運賃」、「乗務員の対応」で「満足」と「やや満足」と回答した方の割合が多いものの、特に「運行本数」、「運行時間帯」で「不満」と「やや不満」と回答した方の割合が多くなっています。

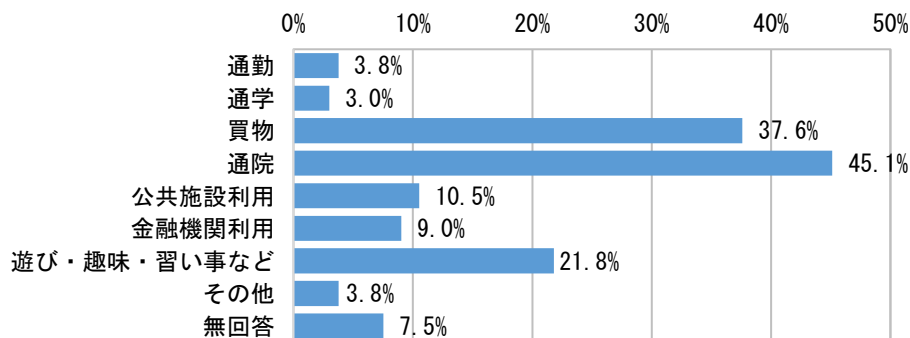
■巡回バスの利用頻度(地区別)



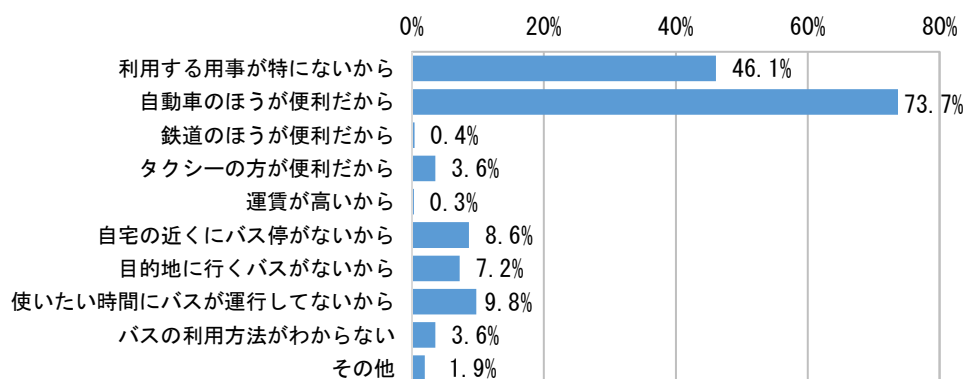
■巡回バスの利用頻度(年齢別)



■巡回バスの利用目的 (n=133) (2つまで選択)

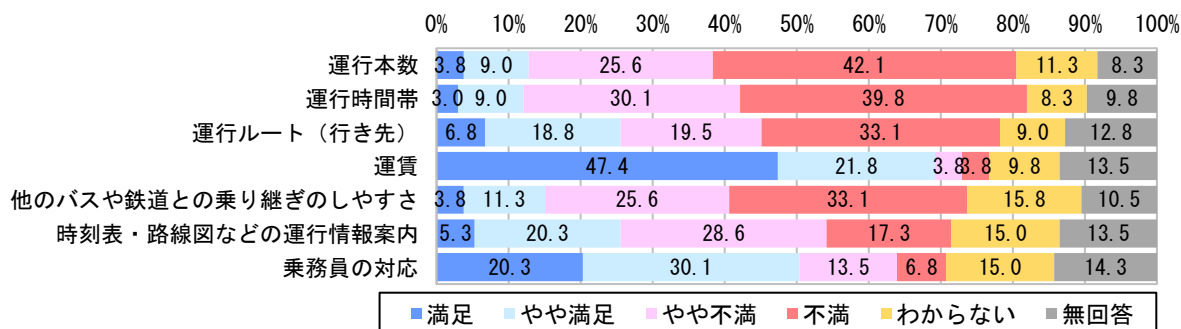


■巡回バスを利用しない理由 (n=983) (3つまで選択)



■巡回バスの運行サービスに対する満足度

【巡回バス利用者 (n=133)】



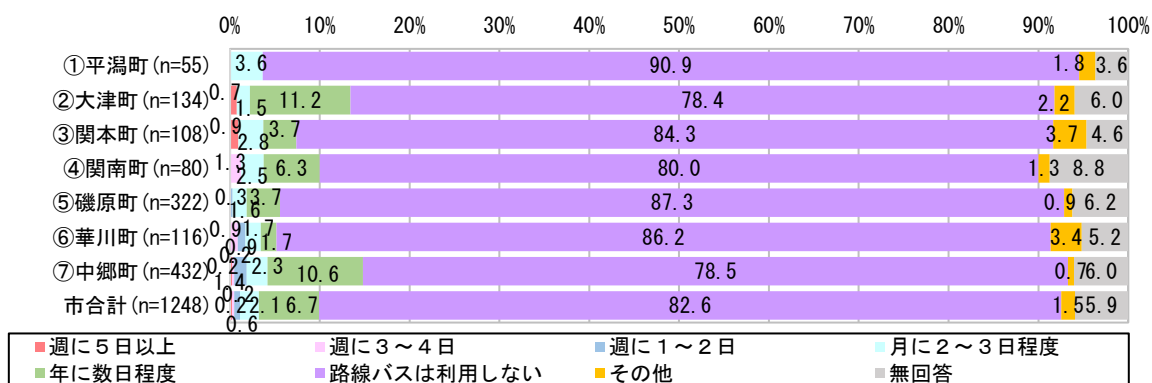
(7) 路線バスの利用実態と意識・要望

路線バスは 9.8%の方が利用しており、利用頻度は「年に数日程度」が 6.7%と最も多くなっています。利用目的は、「通院 (44.4%)」、「買物 (37.1%)」の順で多くなっています。

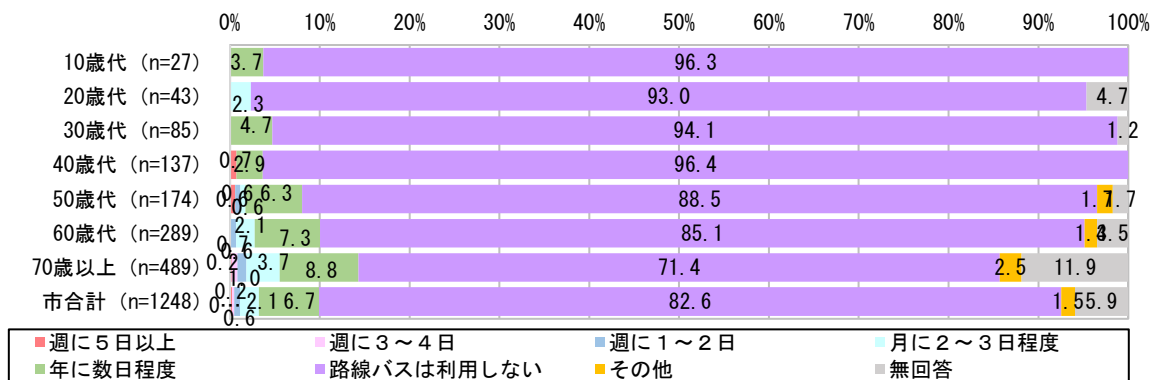
利用しない理由は、「自動車のほうが便利だから」が 71.0%と最も多いが、「利用する用事がないから (51.6%)」といった理由で利用していない方もいます。

運行サービスに対する満足度 (路線バス利用者) は、「運賃」で「満足」と「やや満足」と回答した方の割合が多いものの、特に「運行本数」、「運行時間帯」で「不満」と「やや不満」と回答した方の割合が多くなっています。

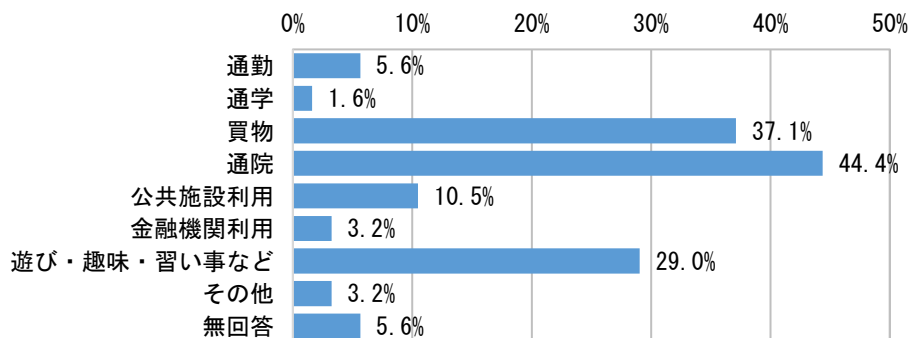
■路線バスの利用頻度 (地区別)



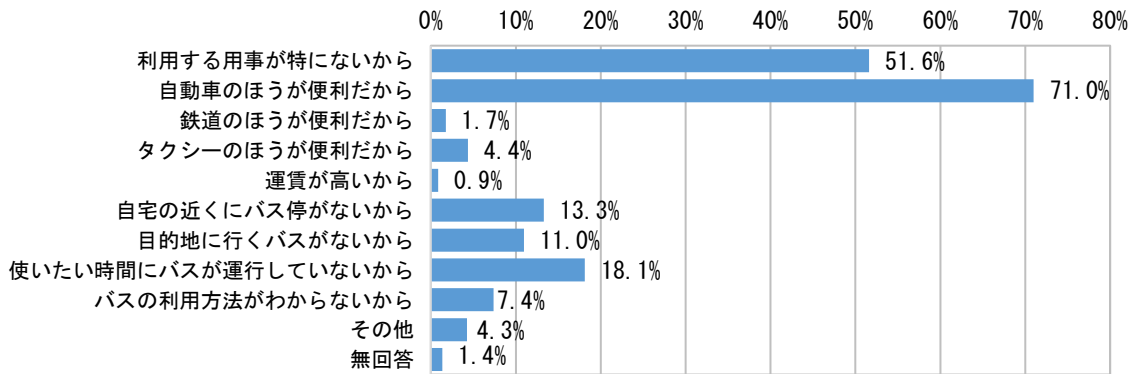
■路線バスの利用頻度 (年齢別)



■路線バスの利用目的 (n=124) (2つまで選択)

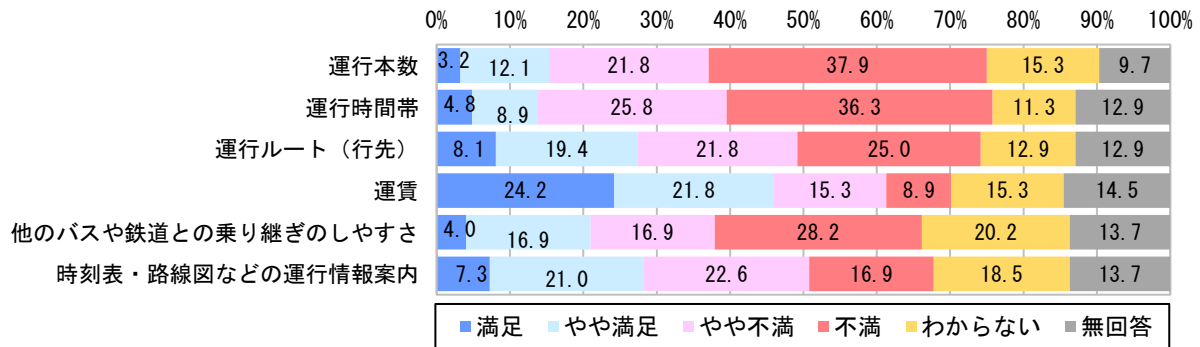


■路線バスを利用しない理由 (n=1031) (3つまで選択)



■路線バスの運行サービスに対する満足度

【路線バス利用者 (n=124)】

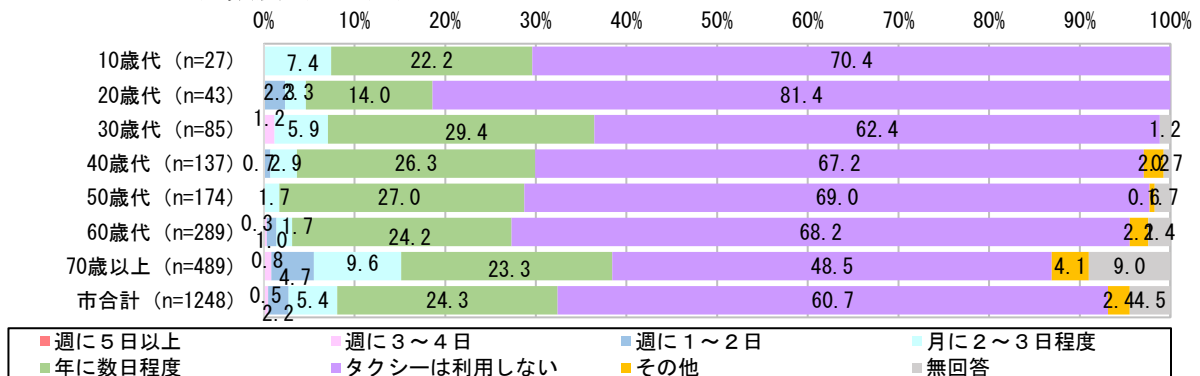


(8) タクシーの利用実態と意識・要望

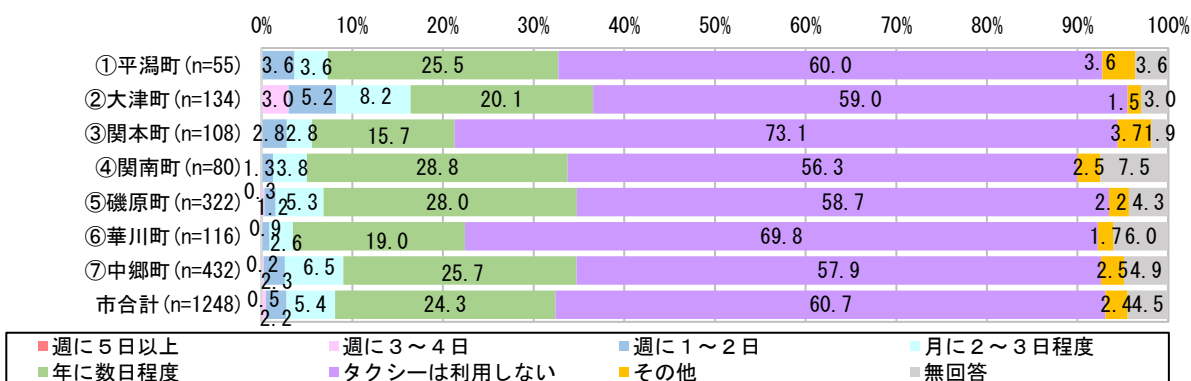
タクシーは32.4%の方が利用しており、利用頻度は「年に数日程度」が24.3%と低頻度の利用割合が多く、利用目的は「遊び・趣味・習い事など (39.3%)」、「通院 (29.1%)」が多くなっています。

サービスに対する満足度 (タクシー利用者) は、「利用のしやすさ (電話での呼び出しなど)」、「車両の乗り心地・乗りやすさ」で「満足」と「やや満足」と回答した方の割合が多いものの、「運賃」、「料金・サービスなどの運行情報案内」で「不満」と「やや不満」と回答した方の割合が多くなっています。

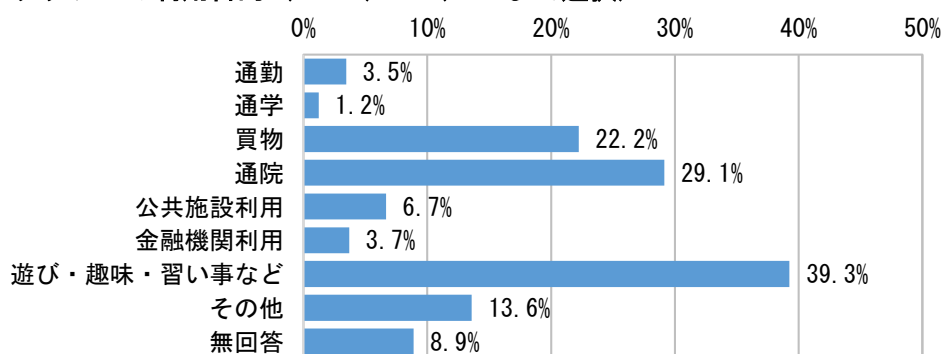
■タクシーの利用頻度 (地区別)



■タクシーの利用頻度（年齢別）

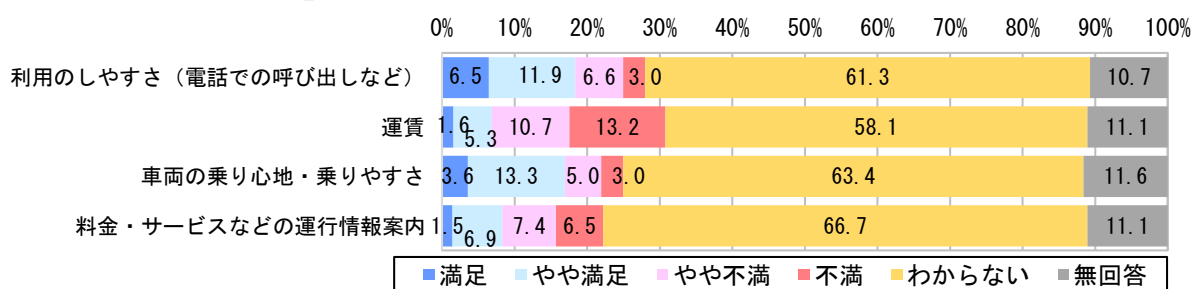


■タクシーの利用目的（n=405）（2つまで選択）



■タクシーの運行サービスに対する満足度

【タクシー利用者（n=405）】

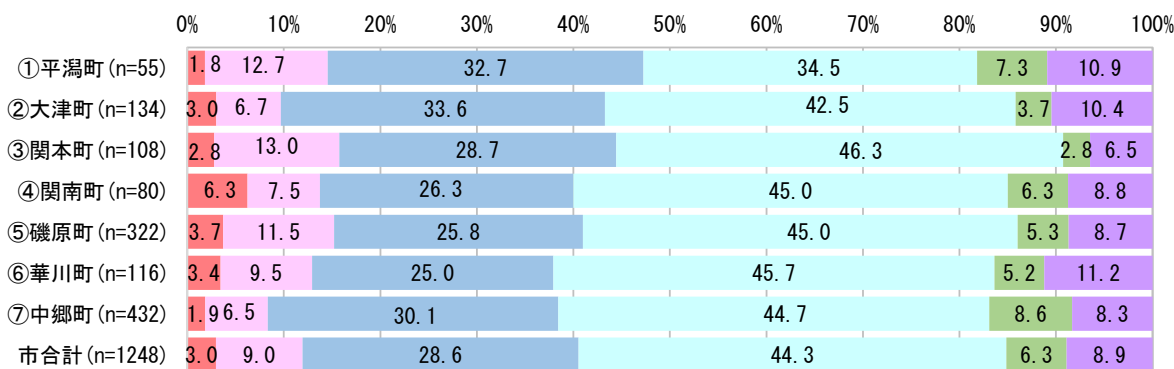


(9) 市民アンケート調査からみえる公共交通の今後のあり方

公共交通の今後の取り組む方向性は、「自家用車を運転できない高齢者などが増えるので、利用者負担や財政負担が増加しても、現状の公共交通サービス水準を拡充させていくべき」の意見が44.3%と最も多くなっています。

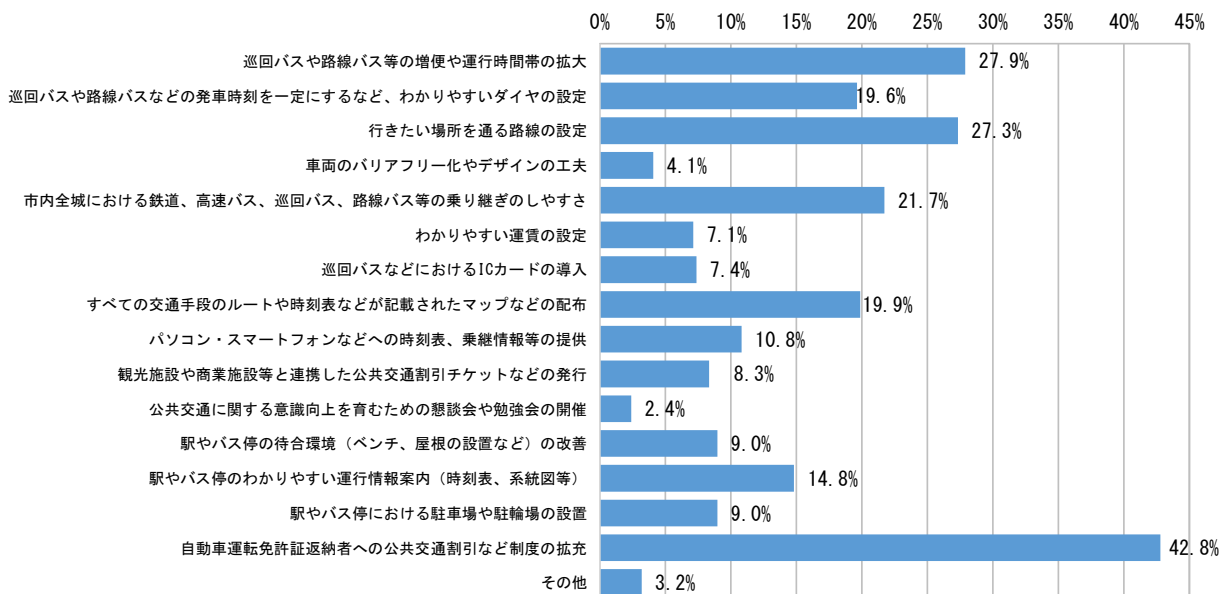
公共交通の利用促進を図るための効果的な取組みは、「自動車運転免許証返納者への公共交通割引など制度の拡充(42.8%)」、「巡回バスや路線バス等の増便や運行時間帯の拡大(27.9%)」、「行きたい場所を通る路線の設定(27.3%)」の順で多くなっています。

■公共交通の今後の取り組む方向性（地区別）



- 大半の人が自家用車で移動できるので、公共交通は必要ないとする
- 沿線の人口の推移や利用状況により、路線の廃止や運行本数の減便を行い、財政負担を減らしていくべき
- 現状と同程度の財政負担の中で、運行の効率化などやれることに取り組み、可能な限り公共交通の維持に努めるべき
- 自家用車を運転できない高齢者などが増えるので、利用者負担や財政負担が増加しても、現状の公共交通サービス水準を拡充させていくべき
- その他
- 無回答

■公共交通の利用促進を図るための効果的な取組み（n=1248）（3つまで選択）



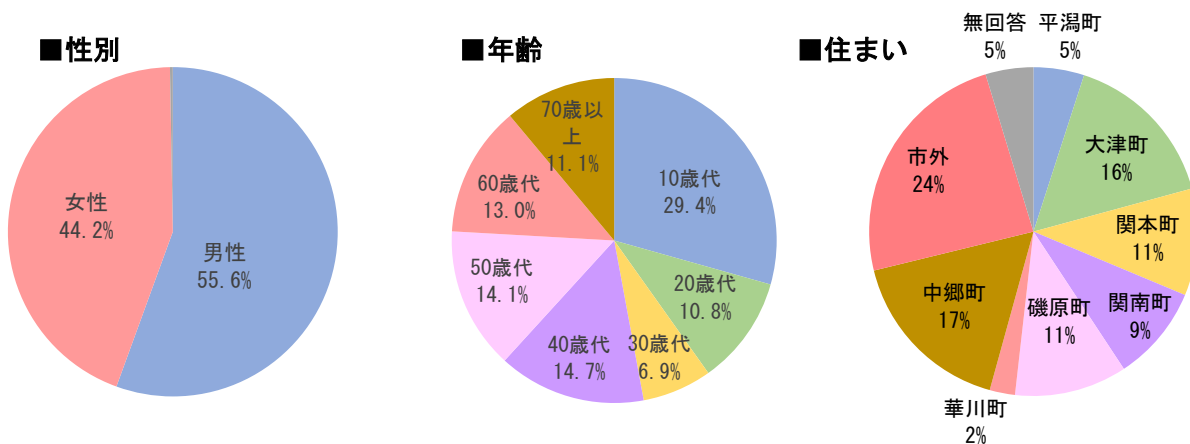
3-2 公共交通利用者アンケート調査

3-2-1 鉄道の利用者調査

調査方法	<ul style="list-style-type: none"> 調査日 令和4年11月4日（金） 調査時間 始発～終発 調査方法 大津港駅、磯原駅、南中郷駅で利用者に対し、調査員による直接ヒアリング
調査項目	<ul style="list-style-type: none"> 回答者の属性（性別、年齢、住まい） 利用の目的、乗り降りする駅、利用頻度、駅まで（から）の交通手段 運行サービスの満足度、利用増になる取組み
回答者数	361件

(1) 回答者の属性

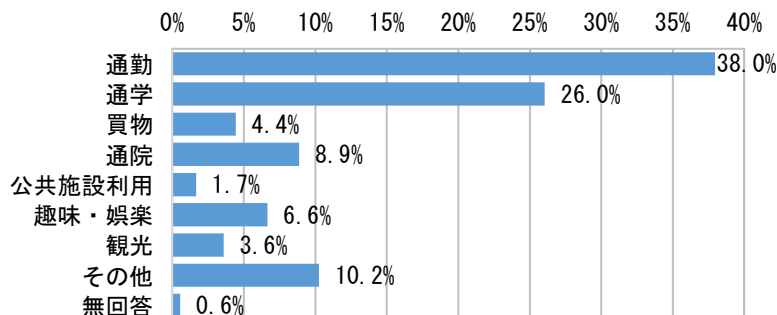
性別は、「男性」が55.6%「女性」が44.2%と男性の割合が多く、年齢は、10歳代の通学世代が最も多く、次いで40歳代、50歳代の通勤世代が占めています。また、住まいが市外からの利用者が24%となっています。



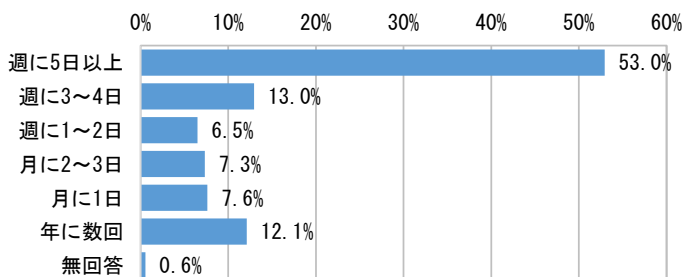
(2) 鉄道の利用状況

鉄道の主な利用目的は「通勤」が38.0%と最も多く、次いで「通学」が多くなっています。利用頻度は、「週に5日以上」が53.0%を占めています。また、駅まで（から）の交通手段は「徒歩」が35.7%と最も多く、次いで「家族や知人等の車で送迎」「自家用車」が多くなっています。

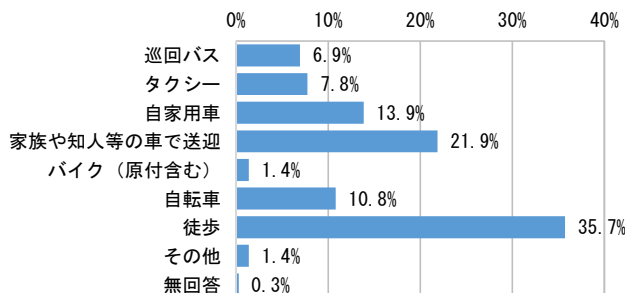
■主な利用目的（2つまで選択）



■鉄道の利用頻度



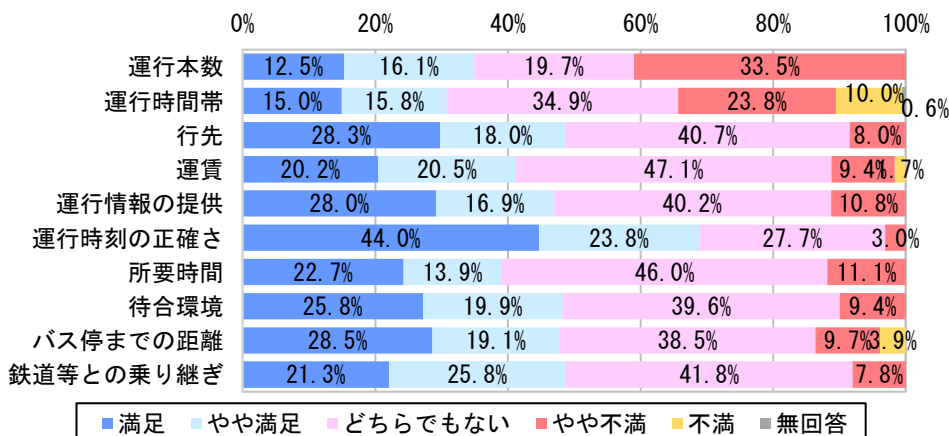
■駅まで（から）の利用交通手段



(3) 鉄道の運行サービスに対する満足度

運行サービスに対する満足度は、「運行時刻の正確さ」で「満足」「やや満足」と回答した方の割合が67.8%と過半数を超えているものの、「運行本数」「運行時間帯」で「不満」「やや不満」と回答した割合が多くなっています。

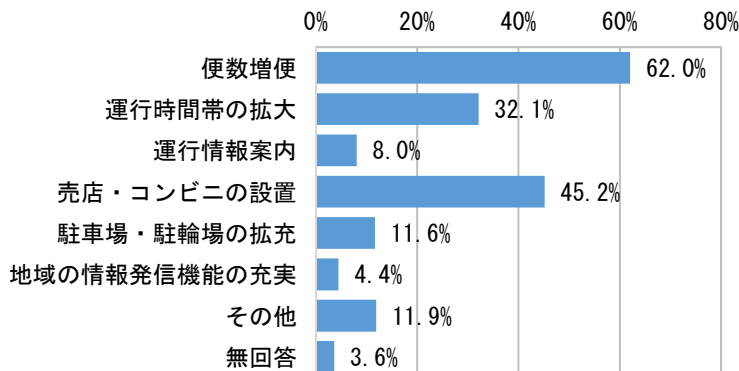
■運行サービスに対する満足度



(4) 鉄道の利用促進を図るための効果的な取組み

鉄道の利用促進を図るための効果的な取組みは、「便数増便（62.0%）」「売店・コンビニの設置（45.2%）」の順で多くなっています。

■利用促進を図るための効果的な取組み（3つまで選択）

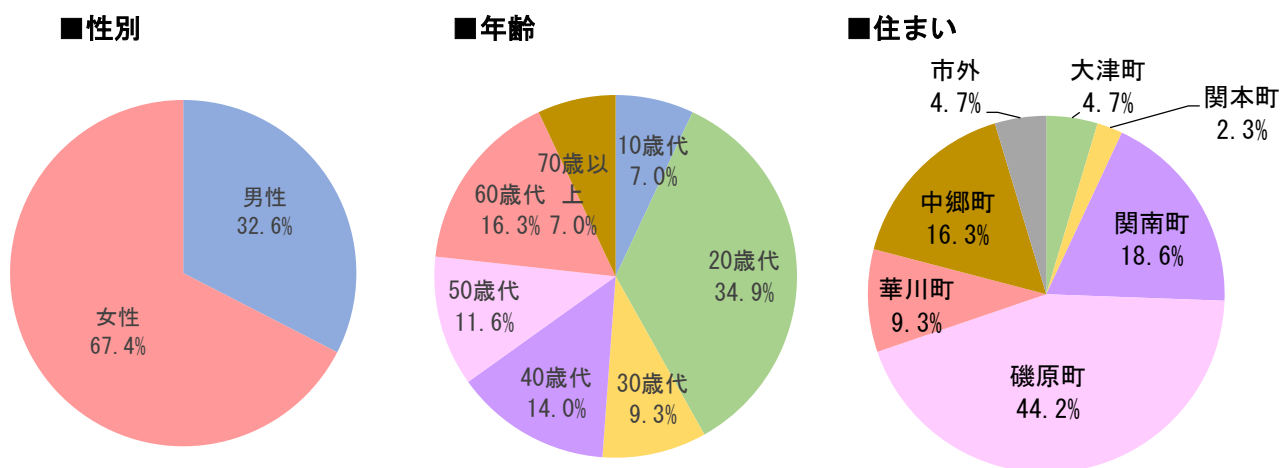


3-2-2 高速バスの利用者調査

調査方法	<ul style="list-style-type: none"> ・調査日 令和4年11月4日（金） ・調査時間 始発～終発 ・調査方法 北茨城 IC にて調査員がバス待ち利用者及び来訪者に直接ヒアリング
調査項目	<ul style="list-style-type: none"> ・回答者の属性（性別、年齢、住まい） ・高速バスの利用の目的、乗り降りするバス停、利用頻度、IC までの交通手段 ・運行サービスの満足度、望む取組み
回答者数	43 件

(1) 回答者の属性

性別は、「男性」が 32.6% 「女性」が 67.4% と女性の割合が多く、年齢は、20 歳代及び 60 歳代で約半数と多くなっています。

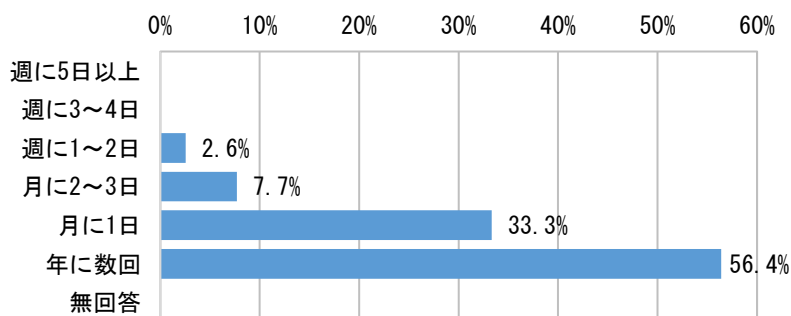


(2) 高速バスの利用状況

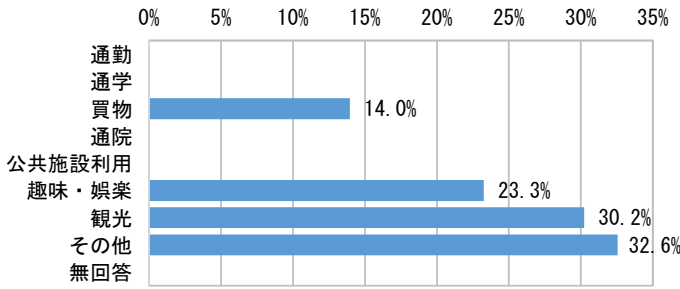
高速バスの利用頻度は、「年に数回」が 56.4% と過半数を占めており、主な利用目的は「その他」で知人や親せきに会いに行く目的が 32.6% と最も多く、次いで「観光」が 30.2% と多くなっています。

北茨城 IC まで（から）の交通手段は、「自家用車」が 51.2% と最も多く、次いで「家族や知人等の車で送迎」が 41.9% と多くなっています。

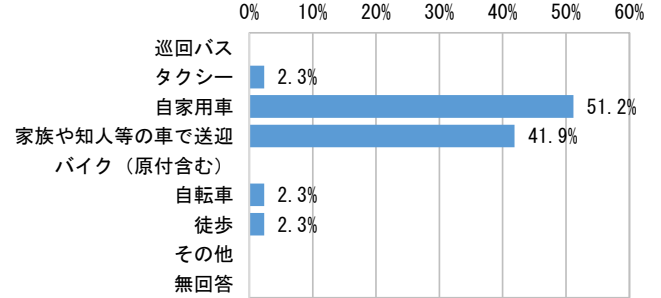
■高速バスの利用頻度



■主な利用目的（2つまで選択）



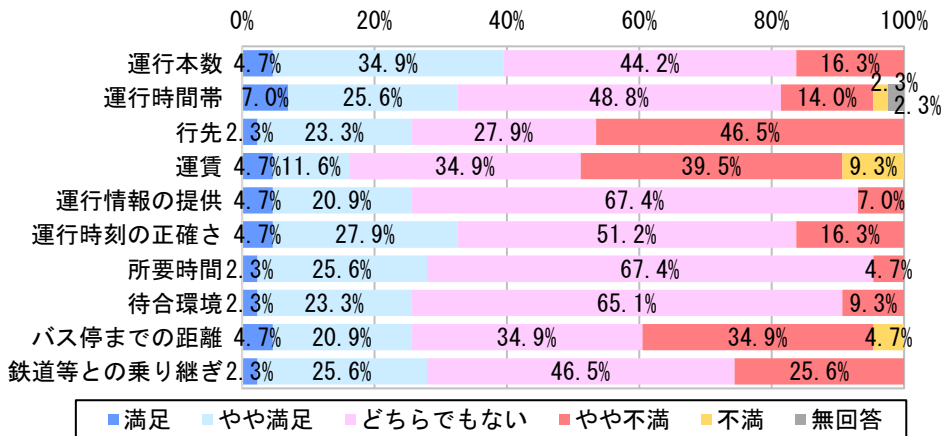
■北茨城ICまで（から）の利用交通



(3) 高速バスの運行サービスに対する満足度

運行サービスに対する満足度は、「運行本数」で「満足」「やや満足」と回答した方の割合が 39.6% と最も多く、一方で「行先」や「運賃」で「不満」「やや不満」と回答した割合が多くなっています。

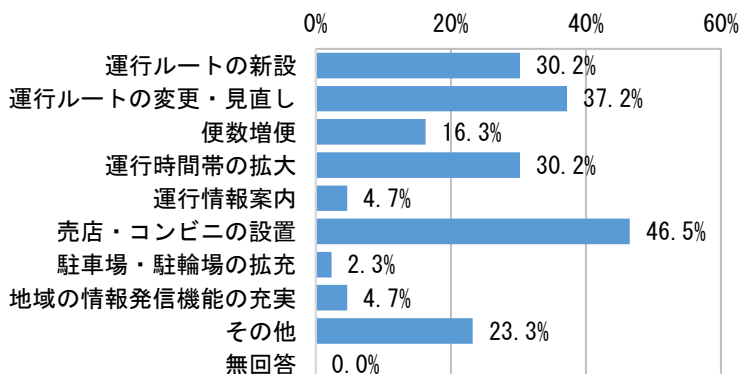
■運行サービスに対する満足度



(4) 高速バスの利用促進を図るための効果的な取組み

高速バスの利用促進を図るための効果的な取組みは、「売店・コンビニの設置（46.5%）」「運行ルートの変更・見直し（37.2%）」の順で多くなっています。

■利用促進を図るための効果的な取組み（3つまで選択）



3-2-3 巡回バスの利用者調査

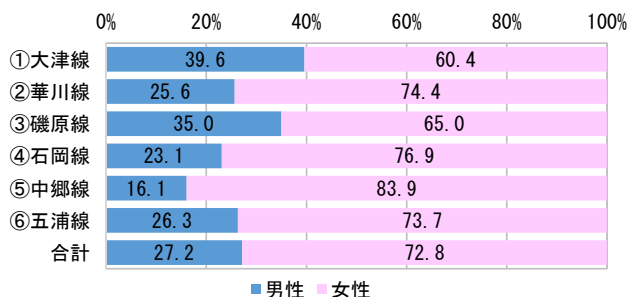
調査方法	<ul style="list-style-type: none"> 調査日 令和4年11月4日（金） 調査時間 始発～終発 調査方法 6路線の全車両に調査員が乗り込み、ビンゴカード形式の調査票を乗車時に配布し、降車時に回収
調査項目	<ul style="list-style-type: none"> 回答者の属性（性別、年齢、住まい） 利用の目的、利用の仕方、バスの利用頻度 運行サービスの満足度、改善して欲しいサービス
回答者数	225件

(1) 回答者の属性

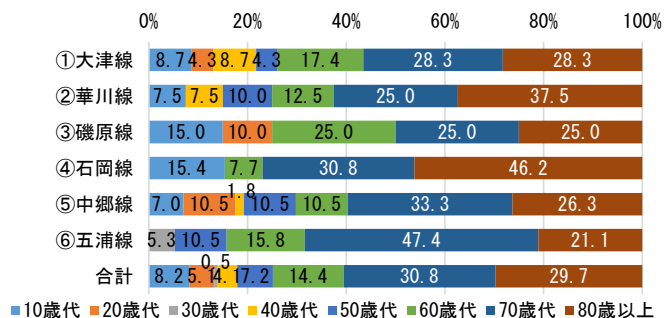
性別は、全体では「男性」が27.2%「女性」が72.8%と女性の割合が多く、特に中郷線においては女性の方が約84%を占めています。

年齢は、70歳以上が過半数を占めており、特に石岡線においては70歳以上が77%を占めています。

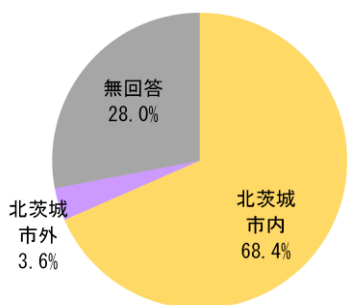
■性別



■年齢



■住まい

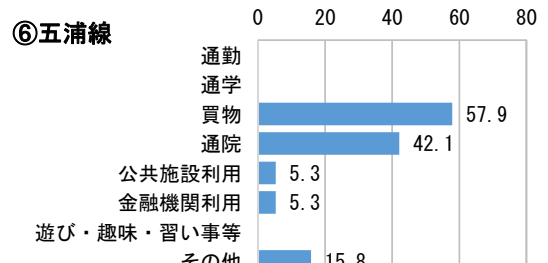
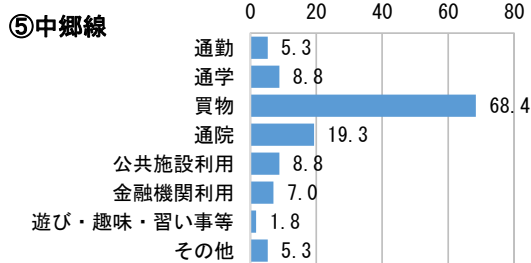
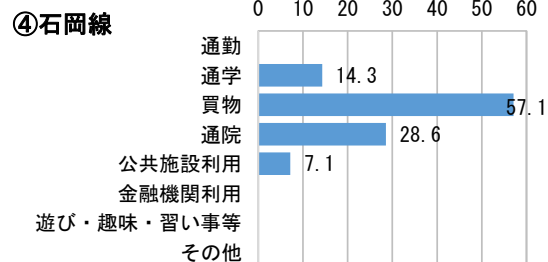
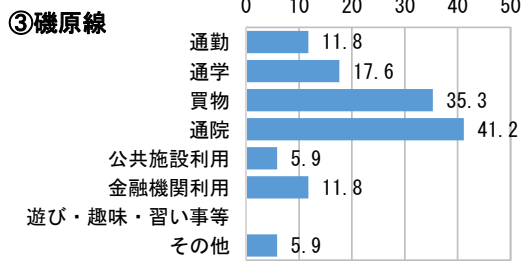
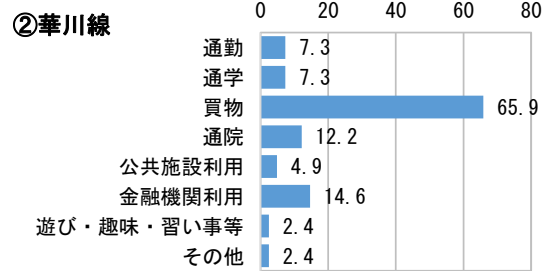
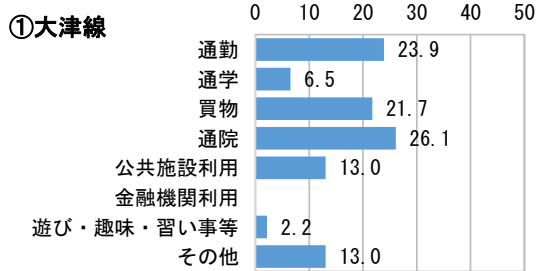


(2) 巡回バスの利用状況

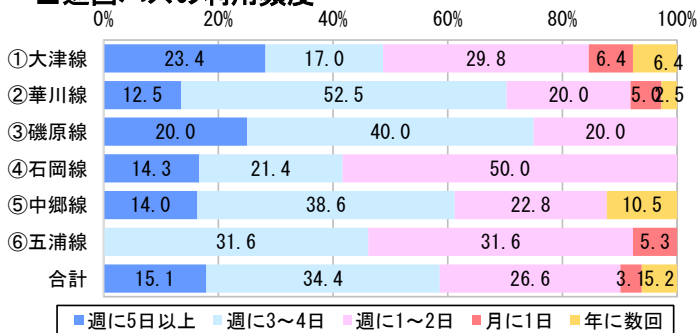
巡回バスの主な利用目的は、路線別では、大津線と磯原線では「通院」が多く、他の路線では「買物」が多くなっています。

利用頻度は、「週に3～4日」が最も多く34.4%を占めており、通勤での利用が比較的多い大津線と磯原線では週に5日以上の利用が多くなっています。

■主な利用目的 (2つまで選択)



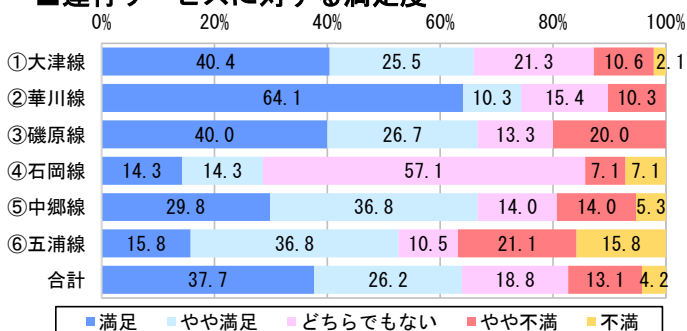
■巡回バスの利用頻度



(3) 巡回バスの運行サービスに対する満足度

運行サービスに対する満足度は、「満足」「やや満足」と回答した割合が過半数を超えているが、「不満」「やや不満」と回答も約1割を占めています。路線別では、華川線の満足度が高く、石岡線での満足度が低くなっています。

■運行サービスに対する満足度

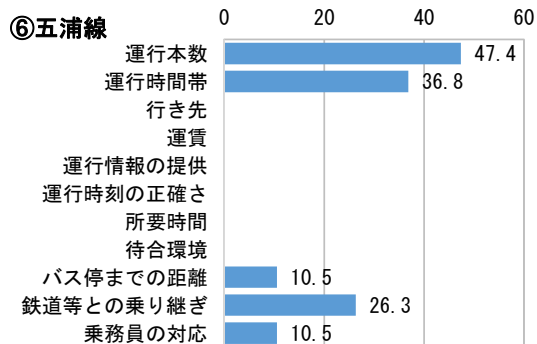
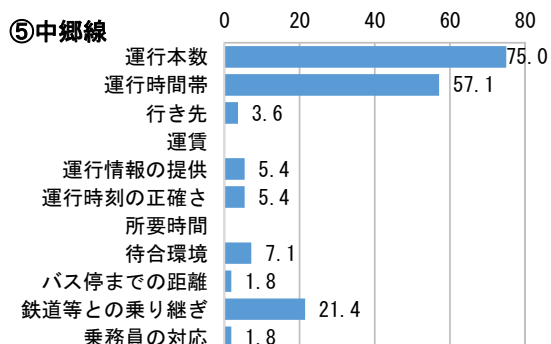
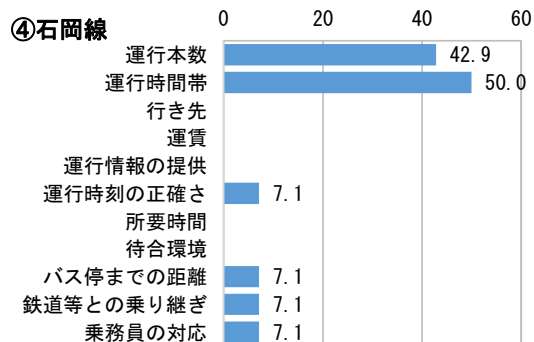
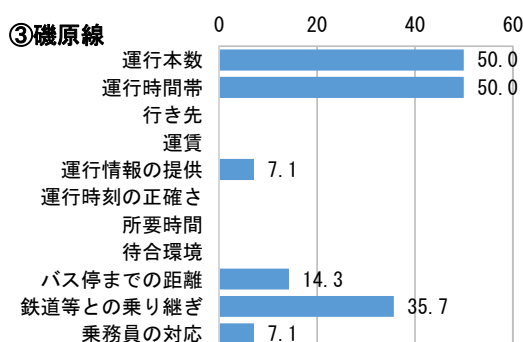
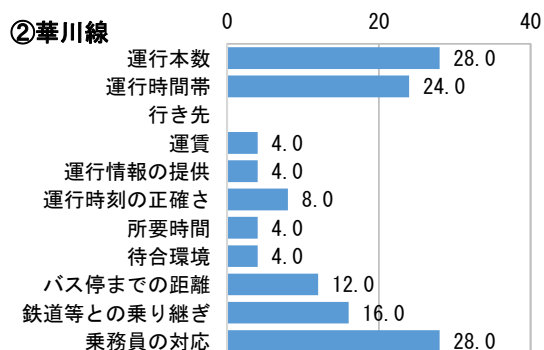
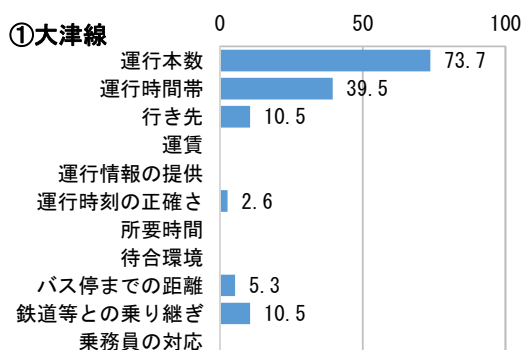
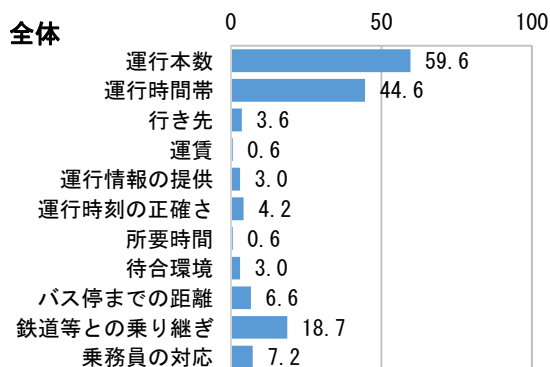


(4) 巡回バスの利用促進を図るための効果的な取組み

利用促進を図るための効果的な取組みは、「運行本数 (59.6%)」「運行時間帯 (44.6%)」の順が多い。

磯原線、中郷線、五浦線においては、「鉄道等との乗り継ぎ」の回答も多くなっています。

■利用促進を図るための効果的な取組み (3つまで選択)



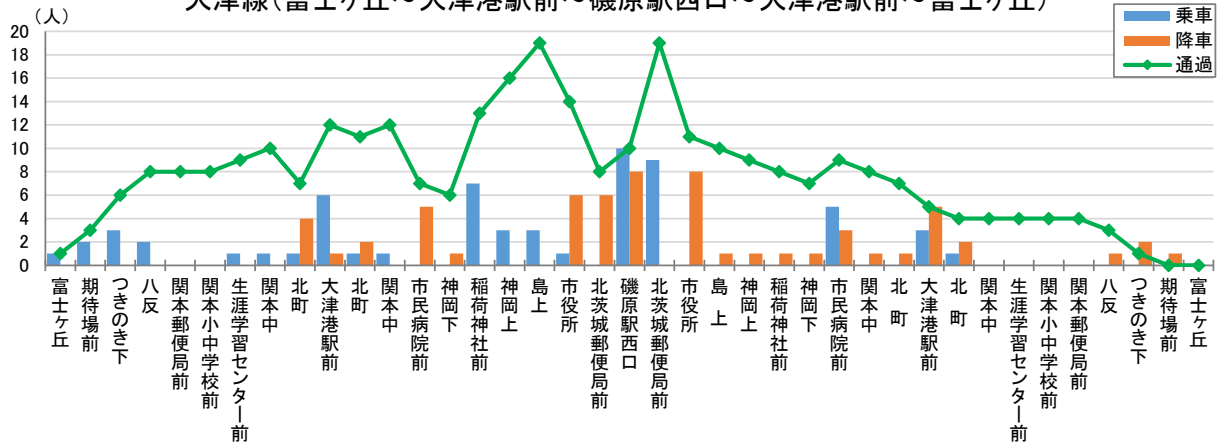
(5) 巡回バス利用者の停留所別乗降者数

乗降が多い停留所は、鉄道駅、市役所、市民病院、北茨城郵便局前で多くなっています。
 また、時間帯別では、大津線・華川線・磯原線では9時台での利用が多く、中郷線では7時台、五浦線では10時台の利用が多くなっています。

令和4年11月4日(金)

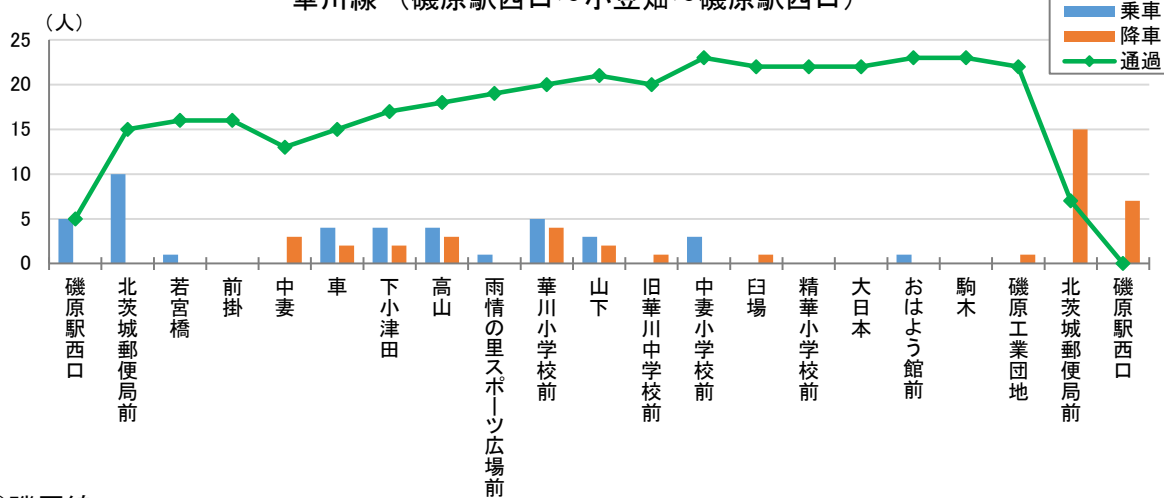
①大津線

大津線(富士ヶ丘～大津港駅前～磯原駅西口～大津港駅前～富士ヶ丘)



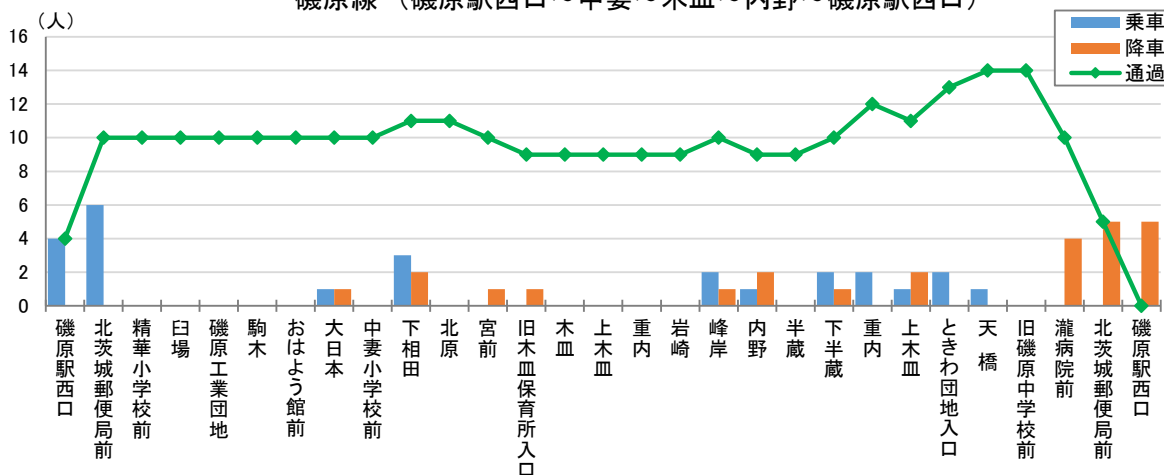
②華川線

華川線(磯原駅西口～小豆畑～磯原駅西口)

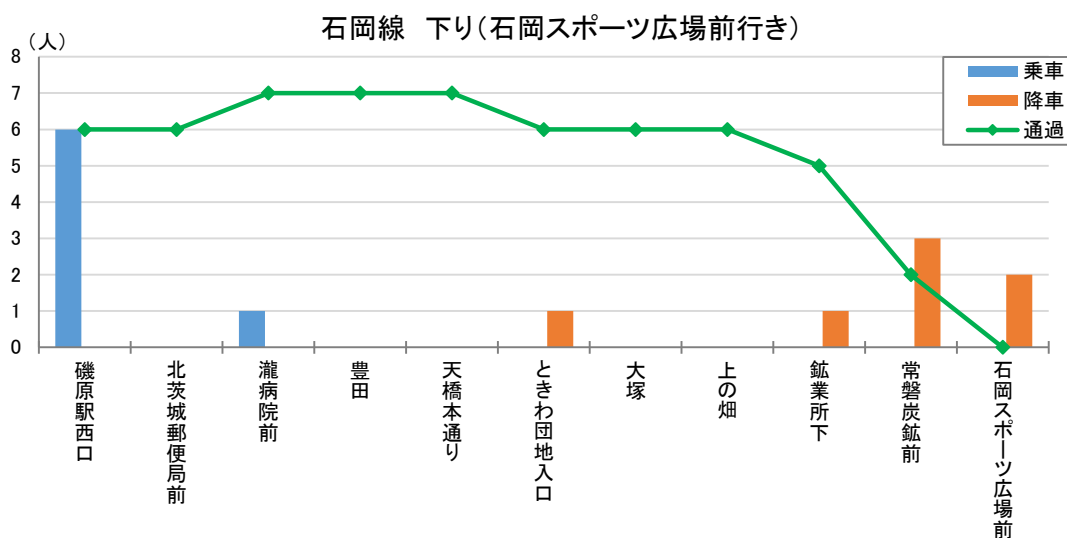
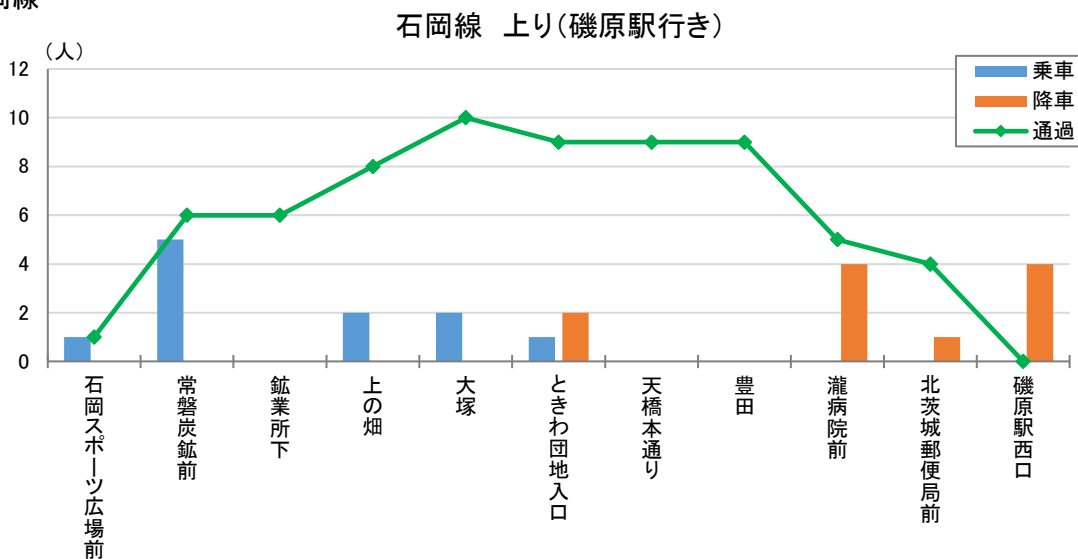


③磯原線

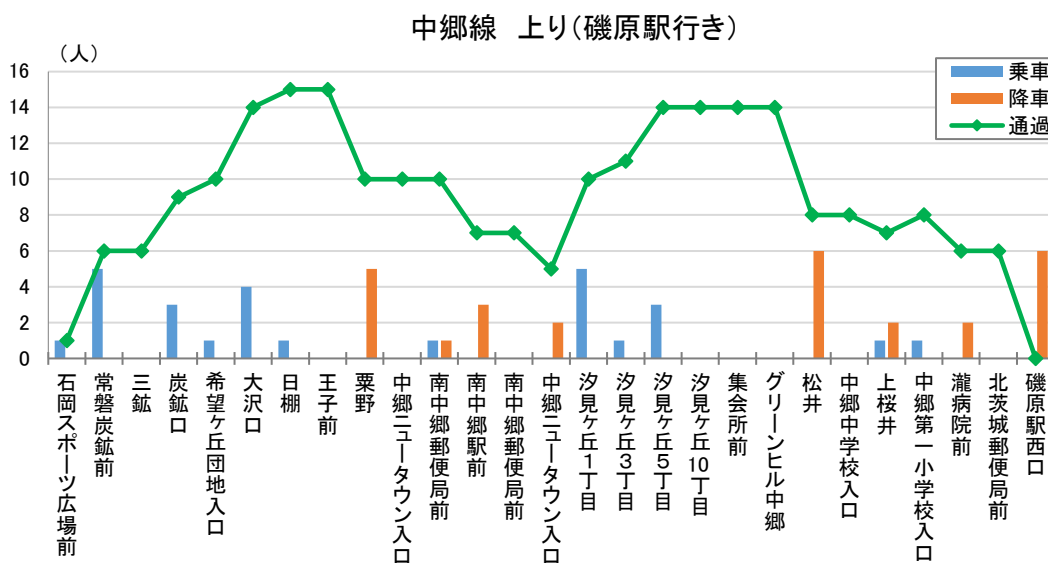
磯原線(磯原駅西口～中妻～木皿～内野～磯原駅西口)

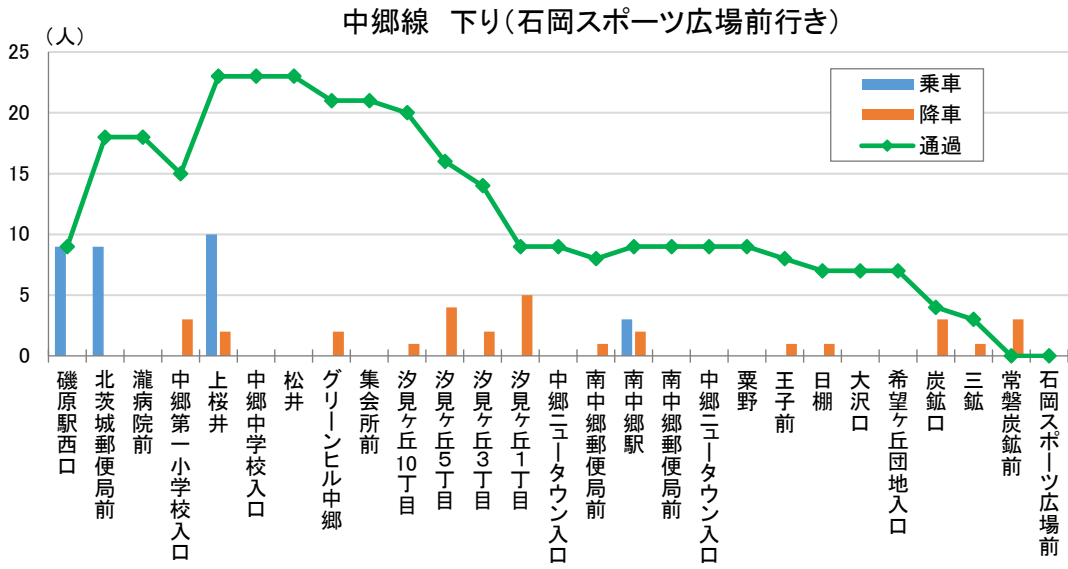


④石岡線

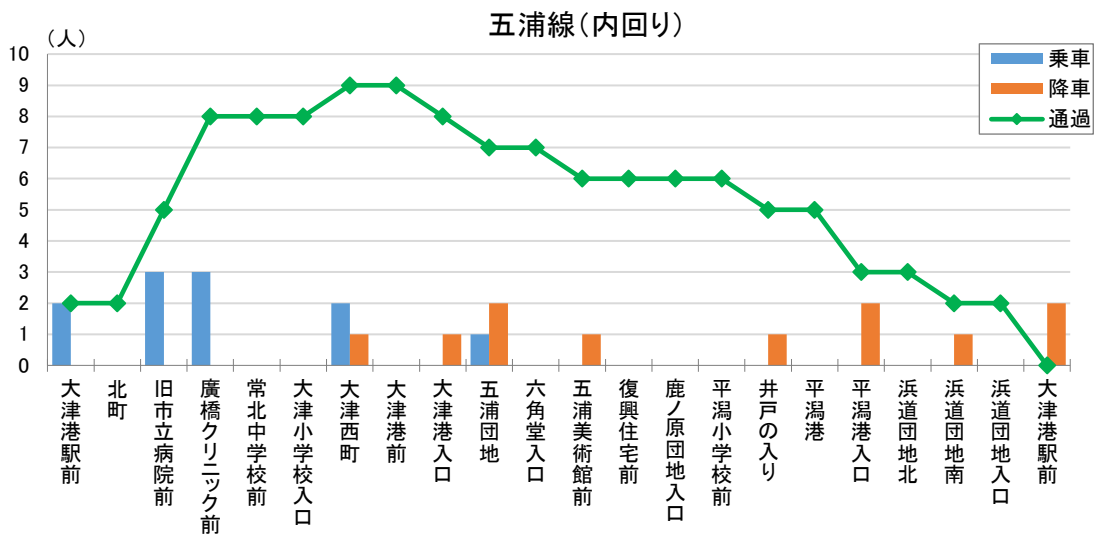
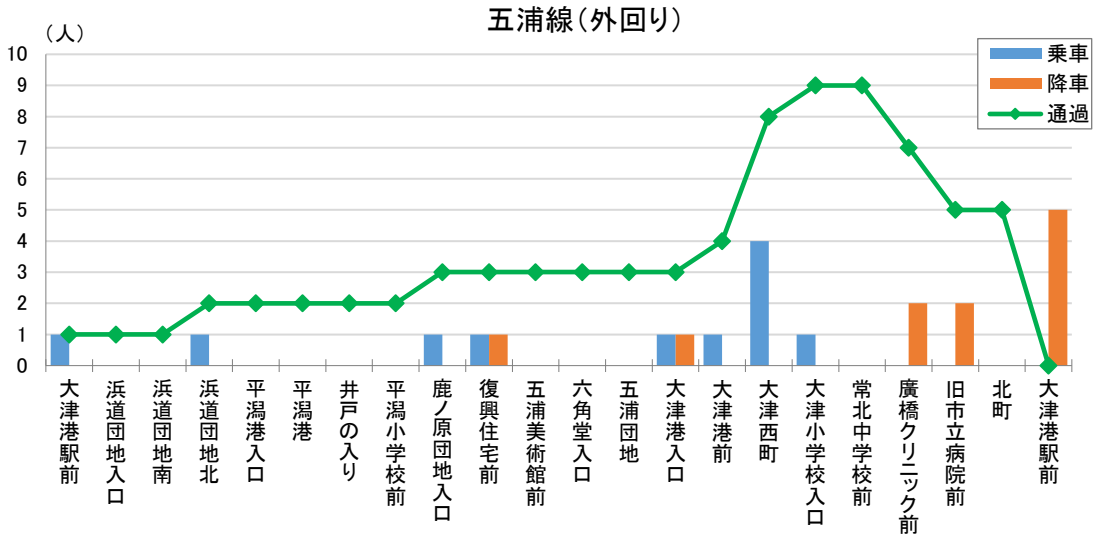


⑤中郷線





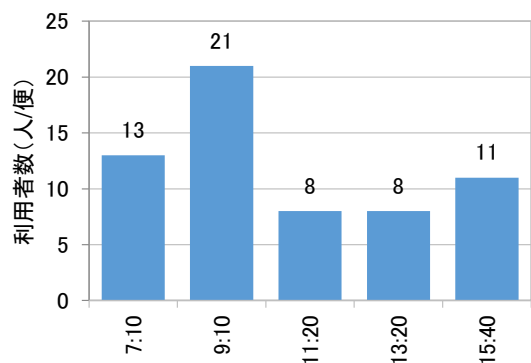
⑥五浦線



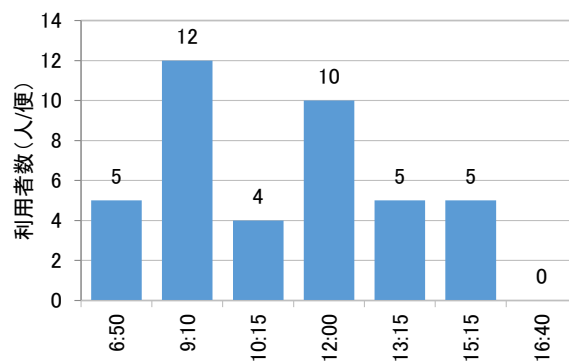
(6) 巡回バスの利用者数

令和4年11月4日(金)

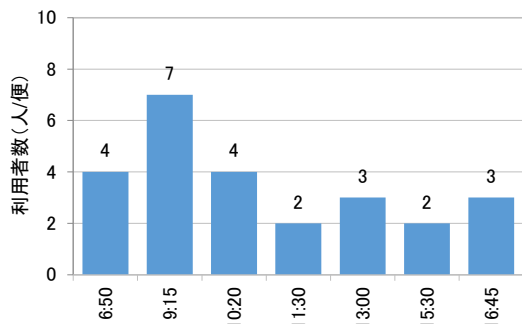
①大津線



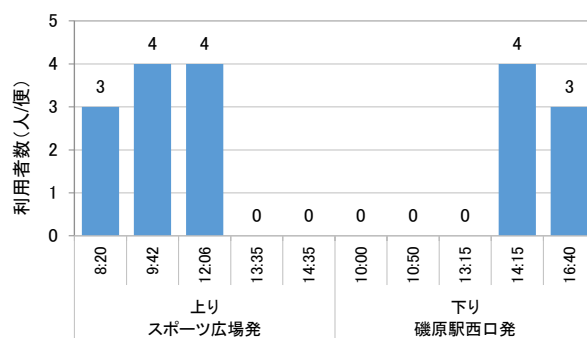
②華川線



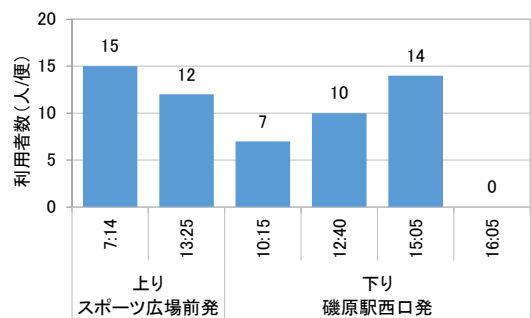
③磯原線



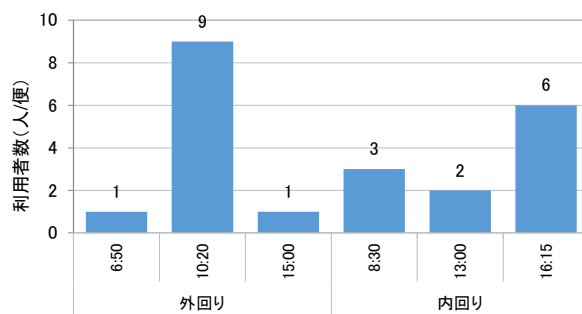
④石岡線



⑤中郷線



⑥五浦線

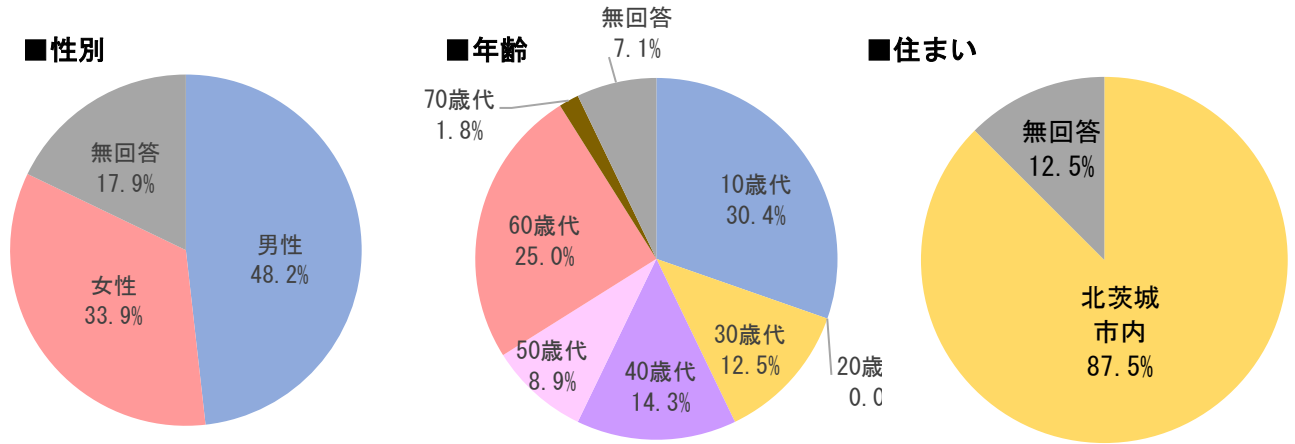


3-2-4 路線バスの利用者調査

調査方法	<ul style="list-style-type: none"> 調査日 令和4年11月4日（金） 調査時間 始発～終発 調査方法 全車両に調査員が乗り込み、ビンゴカード形式の調査票を乗車時に配布し、降車時に回収
調査項目	<ul style="list-style-type: none"> 回答者の属性（性別、年齢、住まい） 利用の目的、利用の仕方、バスの利用頻度 運行サービスの満足度、改善して欲しいサービス
回答者数	56件

(1) 回答者の属性

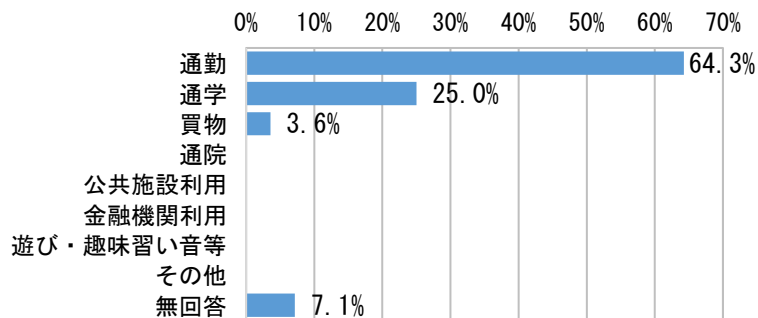
性別は、「男性」が48.2%「女性」が33.9%と男性の割合が多く、年齢は、10歳代が多くを占めています。また、利用は市内在住の方が87.5%を占めています。



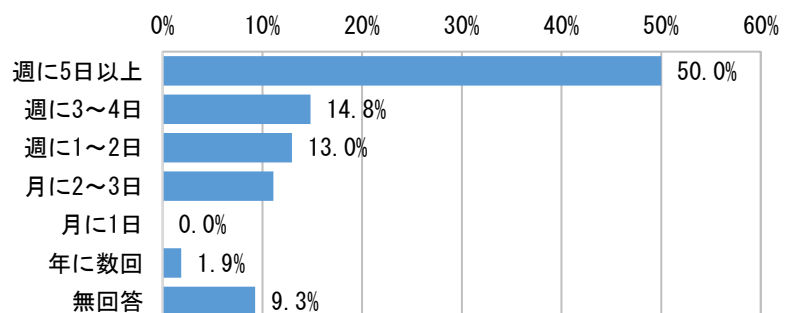
(2) 路線バスの利用状況

路線バスの利用頻度は、「週に5日以上」の方が50.0%と最も多く、通勤・通学での利用が多くなっています。

■路線バスの利用目的



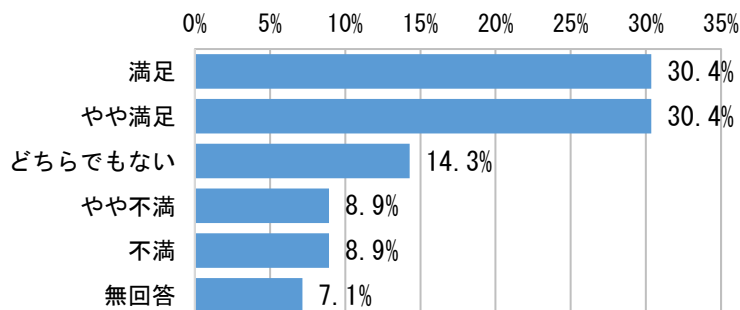
■路線バスの利用頻度



(3) 路線バスの運行サービスに対する満足度

運行サービスに対する満足度は、「満足」「やや満足」と回答した方の割合が60.8%と多いが、「不満」「やや不満」の回答も約2割見られます。

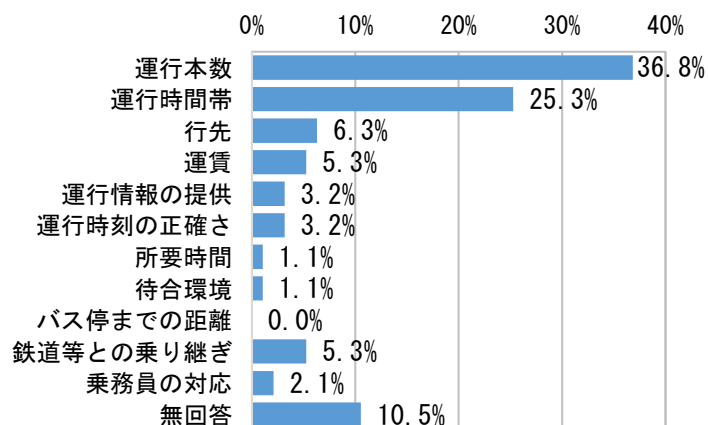
■ 運行サービスに対する満足度



(4) 路線バスの利用促進を図るための効果的な取組み

利用促進を図るための効果的な取組みは、「運行本数(36.8%)」「運行時間帯(25.3%)」の順で多くなっています。

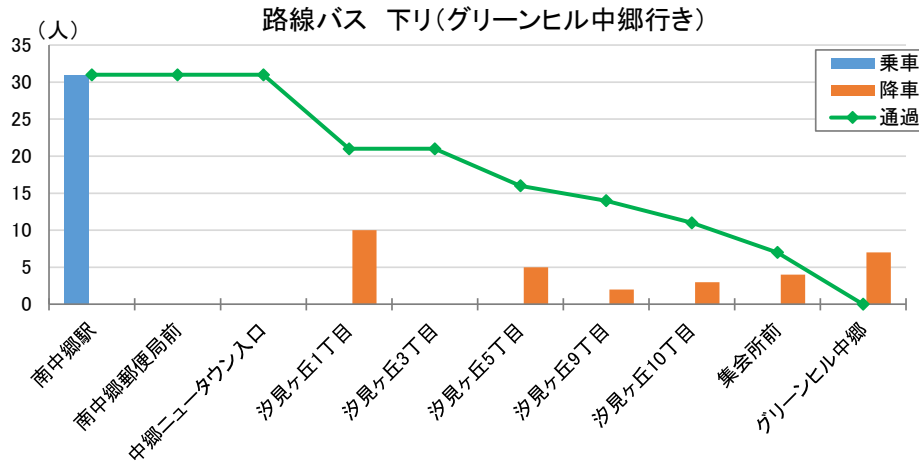
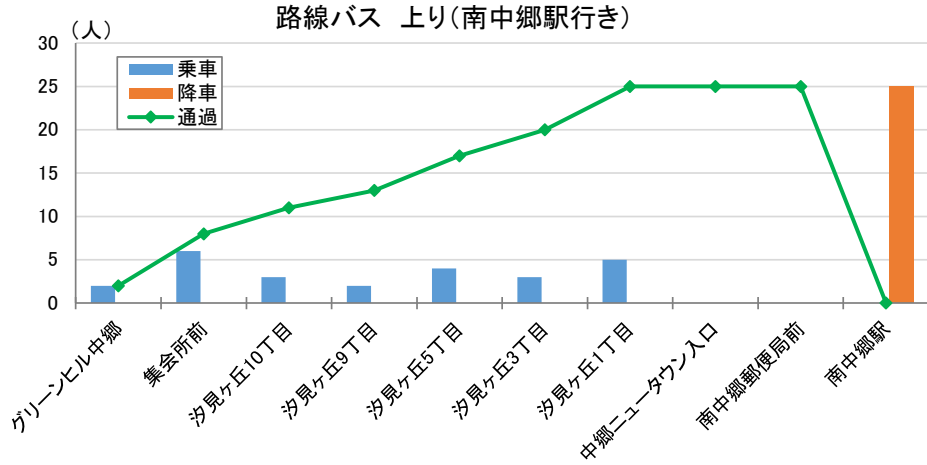
■ 利用促進を図るための効果的な取組み(3つまで選択)



(5) 路線バスの利用者の停留所別乗降者数

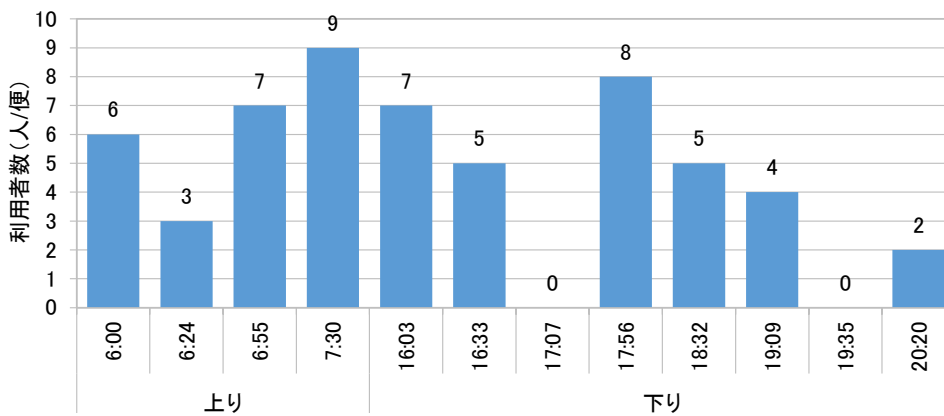
乗降は最寄りの停留所から南中郷駅までの利用パターンとなっています。
 時間帯別では通勤通学の6時、7時台、及び帰宅時の18時前後が多くなっています。

令和4年11月4日(金)



(6) 路線バスの利用者数

令和4年11月4日(金)



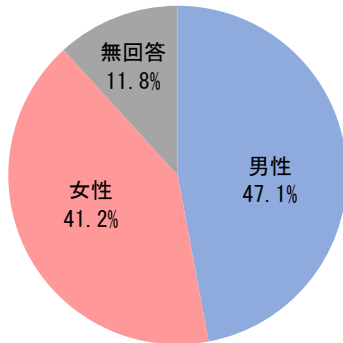
3-2-5 市民病院シャトルバスの利用者調査

調査方法	<ul style="list-style-type: none"> 調査日 令和4年11月4日（金） 調査時間 始発～終発 調査方法 全車両に調査員が乗り込み、ビンゴカード形式の調査票を乗車時に配布し、降車時に回収
調査項目	<ul style="list-style-type: none"> 回答者の属性（性別、年齢、住まい） 利用の目的、利用の仕方、バスの利用頻度 運行サービスの満足度、改善して欲しいサービス
回答者数	17件

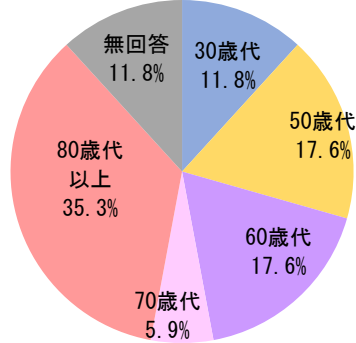
（1）回答者の属性

性別は、「男性」が47.1%「女性」が41.2%と男性の割合が多く、年齢は、80歳代以上が多くを占めています。また、利用は市内在住の方が82.4%を占めています。

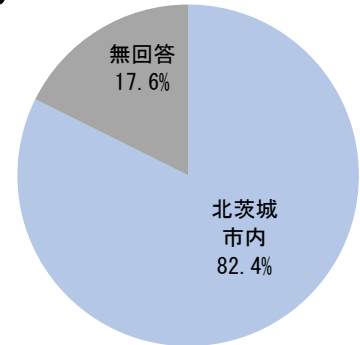
■性別



■年齢



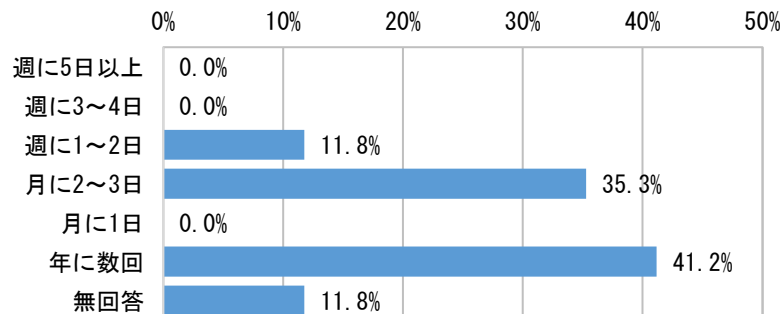
■住まい



（2）市民病院シャトルバスの利用状況

市民病院シャトルバスの利用頻度は、「年に数回」の方が41.2%と最も多くなっています。

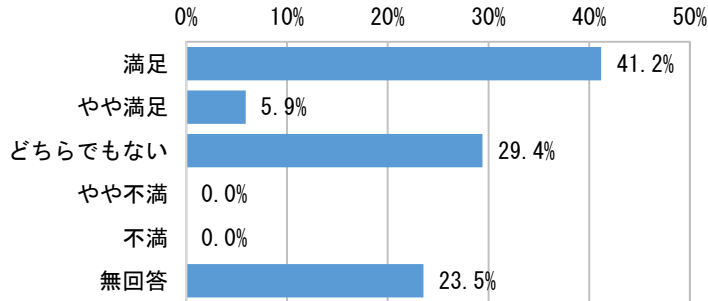
■市民病院シャトルバスの利用頻度



(3) 市民病院シャトルバスの運行サービスに対する満足度

運行サービスに対する満足度は、「満足」「やや満足」と回答した方の割合が47.1%と約半数となっており、「不満」「やや不満」の回答は見られなかったです。

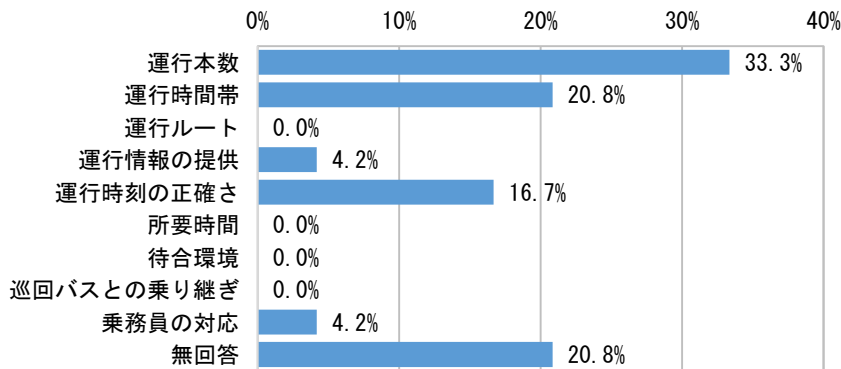
■運行サービスに対する満足度



(4) 市民病院シャトルバスの利用促進を図るための効果的な取組み

利用促進を図るための効果的な取組みは、「運行本数(33.3%)」「運行時間帯(20.8%)」の順で多くなっています。

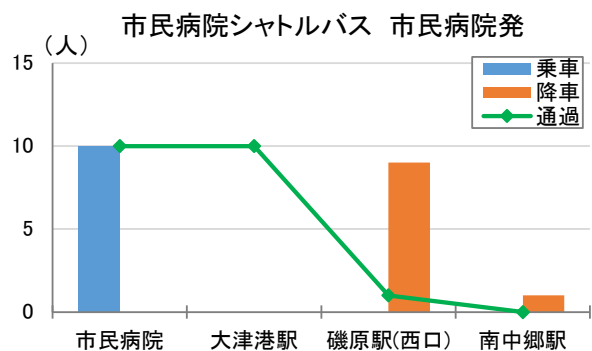
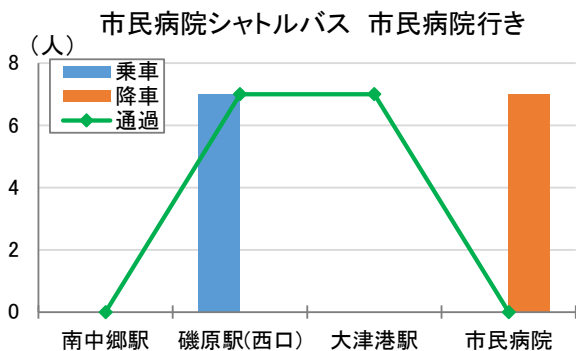
■利用促進を図るための効果的な取組み(3つまで選択)



(5) 市民病院シャトルバスの利用者の停留所別乗降者数

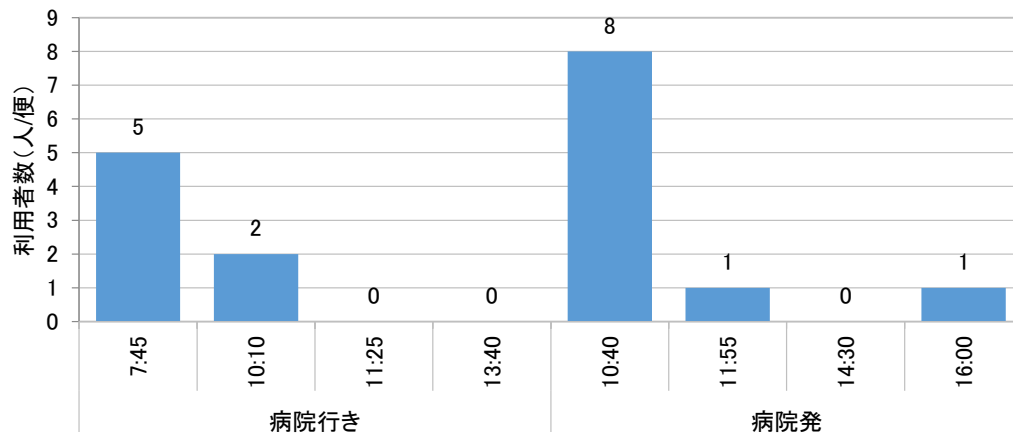
乗降は磯原駅と市民病院の行き来での利用が多くなっています。時間帯別では10時台が最も多く、次いで7時台となっています。

令和4年11月4日(金)



(6) 市民病院シャトルバスの利用者数

令和4年11月4日(金)



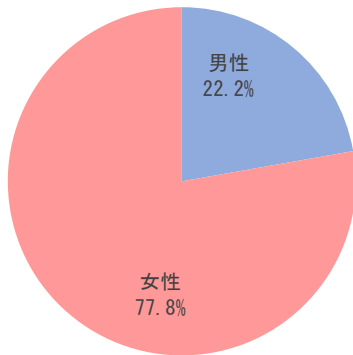
3-2-6 患者輸送車（みどり号）の利用者調査

調査方法	・調査日 令和4年11月4日（金）～11月30日（水） ・調査方法 車内にアンケート票を設置、次回利用時に回収箱に投函
調査項目	・回答者の属性（住まい、性別、年齢） ・通院先、利用頻度、利用する理由 ・運行サービスの満足度、改善して欲しい点
回答者数	9件

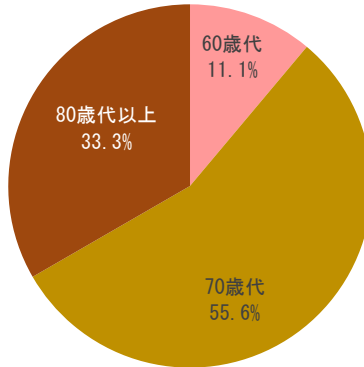
(1) 回答者の属性

性別は、「男性」が22.2%「女性」が77.8%と女性の割合が多く、年齢は、70歳代が最も多くなっています。

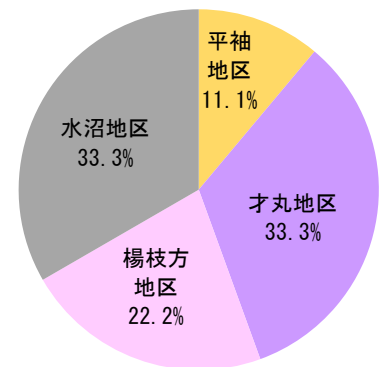
■性別



■年齢



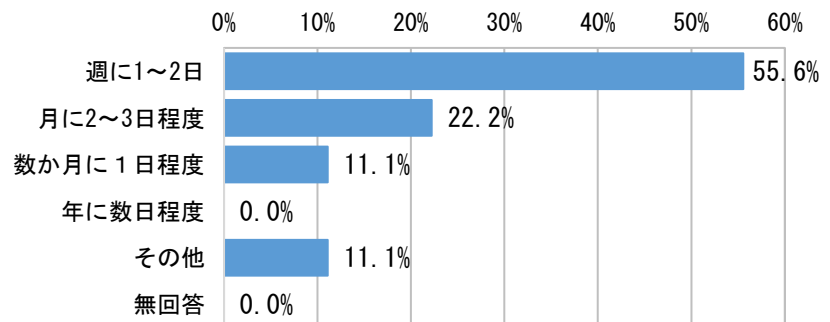
■住まい



(2) 患者輸送車の利用状況

利用頻度は、「週に1～2日」が最も多く55.6%を占めています。

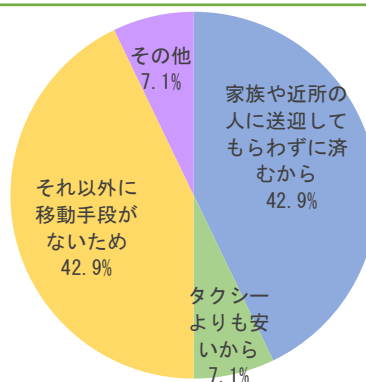
■患者輸送車の利用頻度



(3) 患者輸送車の利用理由

利用理由は、「家族や近所の人に送迎してもらわずに済むから」と「それ以外に移動手段がないため」の回答が多く、それぞれ42.9%を占めています。

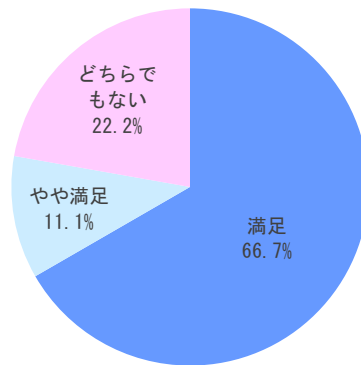
■患者輸送車の利用理由



(4) 患者輸送車の運行サービスに対する満足度

運行サービスに対する満足度は、「満足」「やや満足」と回答した方の割合が 77.8%となっており、また「不満」と「やや不満」の回答は見られなかったです。

■運行サービスに対する満足度



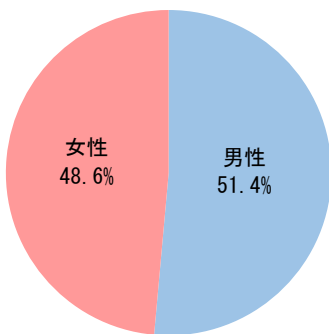
3-2-7 スクールバスの利用者調査

調査方法	<ul style="list-style-type: none"> 調査日 令和4年11月 調査方法 利用者（生徒）の保護者に学校より配布し、後日回収
調査項目	<ul style="list-style-type: none"> 回答者の属性（性別、学校名、学年、住まい） 通院先、利用頻度、利用する理由 運行サービスの満足度、改善して欲しい点
回答者数	35件

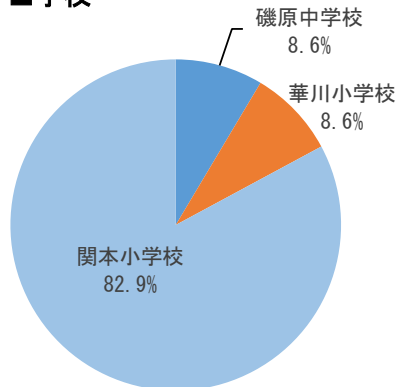
（1）回答者の属性

性別は、「男性」が51.4%、「女性」が48.6%とほぼ同数で、利用は関本小学校の児童が多くなっています。

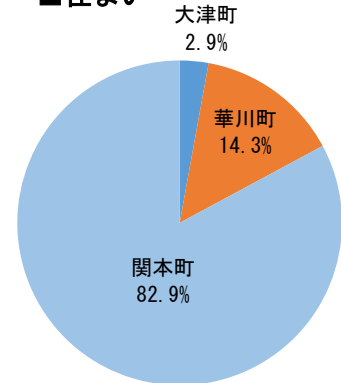
■性別



■学校



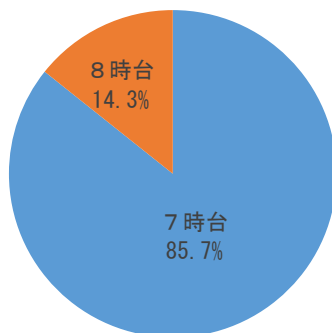
■住まい



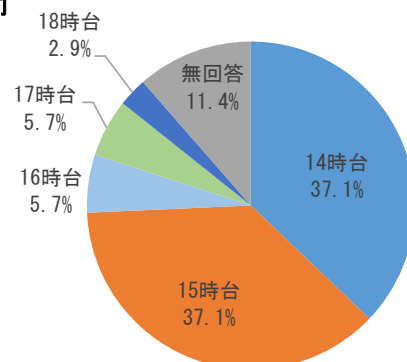
（2）登下校時間

登校時間は7時台に集中しているが、下校時間は14時台～15時台が最も多く、分散しています。

■登校時間



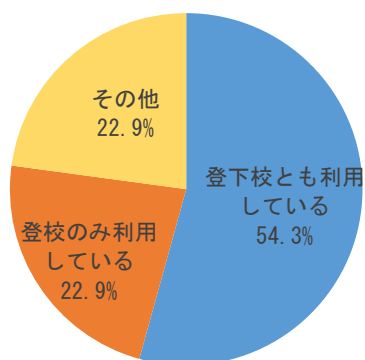
■下校時間



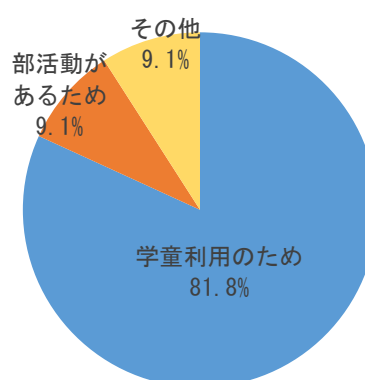
(3) 登下校での利用

「登下校とも利用している」人は 54.3%と過半数を占めているが、登校のみ利用し下校時には利用していない人の理由は「学童利用のため」「部活動があるため」となっています。

■登下校での利用有無



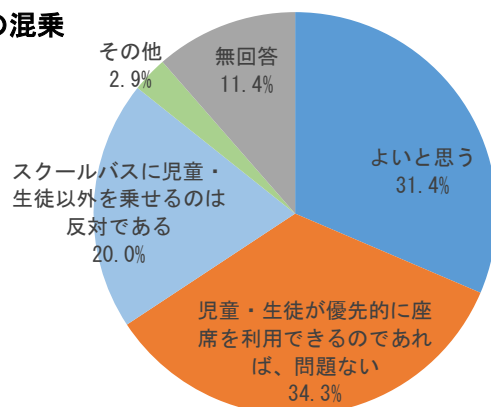
■下校時に利用しない理由



(4) 児童・生徒と一般客の混乗

児童・生徒と一般客との混乗については、「よいと思う (31.4%)」「児童・生徒が優先的に座席を利用できるのであれば問題ない (34.3%)」の回答が6割を超えているが、一方で「スクールバスに児童・生徒以外を乗せるのは反対である」が 20.0%となっています。

■一般客との混乗



3-3 交通事業者、その他の関係団体アンケート調査

3-3-1 交通事業者への調査

交通事業者を対象に、定性的な利用特性や現在抱えている課題、利用者から寄せられている意見・要望、さらに事業者として利用者の確保・利便性向上策などを把握するためのアンケート調査を実施しました。

■アンケート調査の実施方法

調査対象関係者	○鉄道：東日本旅客鉄道(株)水戸支社 ○路線バス：茨城交通(株) ○タクシー：(有)太陽タクシー、(有)中郷タクシー、(有)平和タクシー
調査方法	メールまたはFAXによる配布、回収 実施期間：令和4年12月

■交通事業者アンケート結果のまとめ

鉄道事業者	<p>■JR常磐線の利用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝7時台、夜18～19時が利用のピーク ・傾向として、南中郷駅は、平日と休日の割合が6：4、磯原駅・大津港駅は、平日休日同程度の利用がある。 <p>■鉄道運行上の問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄道利用者数は減少傾向にあり、社員数についても就職希望者の減少により減少傾向である。 ・鉄道維持のために、更なる利用促進や経費削減等の努力が必要である。 <p>■利用者から寄せられている意見・要望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大津港駅へのエレベータの設置 現時点では早期整備は厳しい。 ・磯原駅以外での特急券の販売 パソコン、スマホ等を活用した「えきねっと」の利用を促進している。 <p>■利用促進・経営改善の実施状況、計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域と連携した「新たな観光素材の発掘」や「既存の観光素材の磨き上げ」 ・SNSやHPを活用した鉄道利用と観光流動の促進 ・鉄道と地域の魅力を掛け合わせたラリー企画の実施 ・駅運営体制の適宜見直し ・駅設備のスリム化（営業機器、トイレ、エスカレーター設備の見直し等） <p>■他の交通事業との連携に関して求めたいこと、協力できること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バス、タクシー等の2次交通と鉄道との連携が非常に重要と考えているので、引き続き密接な連携をお願いしたい。
-------	---

鉄道事業者	<ul style="list-style-type: none"> ■北茨城市の施策・計画に提言・期待すること、行政との協働について <ul style="list-style-type: none"> ・駅を中心としたコンパクトシティ化の推進 ・通勤・通学における公共交通の利用促進 ・地元観光素材の掘り起こし、イベント開催 ・駅や観光施設を拠点としたレンタサイクル等の導入 ・駅、駅前広場、トイレ周辺施設の見守り、清掃等維持管理への協力等
バス事業者	<ul style="list-style-type: none"> ■路線バスの利用状況 <ul style="list-style-type: none"> ・通勤者の利用が大半である。（朝は駅に向けた利用、夕方は駅からの利用） ・コロナ前も利用者は減少していたが、コロナによってさらに減少した。働き方の変化により、以前の利用者数には戻らないと予想される。 ■路線バス運行上の問題点 <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の減少に伴い収支が悪化しており、損失分が賄えない状況となっている。 ■路線バスの今後の再編等について <ul style="list-style-type: none"> ・「南中郷駅～グリーンヒル中郷」の路線について、北茨城市からの補助金だけでは運行経費が賄えない状況のため、路線廃止を検討している。 ■利用促進・経営改善の実施状況、計画 <ul style="list-style-type: none"> ・運行情報として、バスロケーションシステムを導入している。
タクシー事業者	<ul style="list-style-type: none"> ■タクシー利用状況 <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数は、減少傾向にある。 ・利用が多い時間帯は午前中で、高齢者の利用が主である。 ・主な行先として、市民病院・薬局及びサンユーストア、ヨークベニマルの商業施設（とくに新聞広告チラシがあった日）等 ・ワクチン接種のために、接種場所への送迎による利用が増えた。 ■一般タクシー以外の取組み状況 <ul style="list-style-type: none"> ・特になし（宅配サービス、買物代行サービス等は実施していない） ■地域交通利用券（タクシー券）助成について <ul style="list-style-type: none"> ・利用先として多い施設は、病院、商業施設、公共施設が挙げられる。 ・利用者からの要望、意見として、以下のものが挙げられる。 <ul style="list-style-type: none"> タクシー券に感謝している 利用枚数の増数 出張所でのタクシー券発行の日数増加 ・タクシー料金について、交通券を配布する際に、利用者に説明をお願いしたい。 ■現在抱えている運行上の課題 <ul style="list-style-type: none"> ・運転手の高齢化 ■利用促進・利便性向上・経営改善等の取組み状況、計画について <ul style="list-style-type: none"> ・特になし

3-3-2 関係団体等への調査

関係団体を対象に、まちづくりを取り巻く問題・課題や公共交通との連携・協力、公共交通に対する意見・要望などを把握するためのアンケート調査を実施しました。

■アンケート調査の実施方法

調査対象関係者	○北茨城市社会福祉協議会、北茨城市観光協会、北茨城市商工会 ○市内主要施設：宿泊施設（五浦観光ホテル）、 商業施設（トライアル北茨城店、ヨークベニマル大津店、 サンキ北茨城店） 医療施設（廣橋病院、瀧病院）
調査方法	メールまたはFAXによる配布、回収 実施期間：令和4年12月

■関係団体等アンケート結果のまとめ

北茨城市 観光協会	<p>■主に観光客層等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平日、土休日ともに、60歳以上の方が多い。 ・11月の花園溪谷の紅葉シーズンでのタクシー利用が多い。 <p>■観光を取り巻く現状や問題点・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナによる公共交通を利用した団体旅行者の減少 <p>■観光振興のための取組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JRグループと地域が一体となって行う観光キャンペーンで、JR主催のイベントに協力している。 <p>■観光客や観光施設から、公共交通に関して寄せられている意見等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花園神社、花園溪谷まで行くバスがない（道が狭く、大型バスの通行が困難）。 ・土休日に、バスが運行していない。
北茨城市 商工会	<p>■商業を取り巻く現状や問題点・課題について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナによる事業活動の制限、個人消費の停滞に加え、原材料・燃料コストの上昇により、経営環境は厳しい状況が続いている。 ・個々の努力と環境変化に対応できる経営体質づくり ・新たな発想による事業再構築や事業転換、DXの推進等によるビジネスモデルの変革、先端技術を取り入れた新商品・新サービスの開発等 <p>■市からの委託で実施している行商事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主な利用層：70代以上の女性高齢者 ・利用が多い地区：関本町（あかね会利用者、境橋付近など） 平潟町（本町通り、東、大黒屋水産など） ・利用者からの声 サービスに対して大変喜んでいる。（利用者は車が運転できないため） 週1回の回数を増やしてほしい ・運営上の課題

	<p>委託費だけでは運営できないため、本会からの持ち出しが大きい。 保冷車の故障が多くなってきているので、車両の入れ替えの検討が必要</p> <p>■商業活性化のために実施している施策等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市から委託を受けている「北茨城観光案内所」における観光施設等の周知や、「飲食店マップ」の発行及びマップを活用した情報提供 <p>■来訪者や商業施設から、公共交通に関して寄せられている意見等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電車の本数の少なさ <p>■貴団体としての公共交通についての意見・要望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市において、観光は重要な産業であるため、観光客の移動手段を確保する。 ・これまでの公共交通の充実を図り、地域住民の足を確保することが最重要課題であり、連携して公共交通を考える視点がやや弱かった。 ・市担当者、交通事業者等を対象とした勉強会の開催や隣接する行政等の事例研究、地域住民のニーズ調査といった取組みが必要である。
<p>北茨城市 社会福祉協議会</p>	<p>■高齢者の外出や移動支援への取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本会に登録としている「石岡送迎ボランティア」が、高齢者サロン開催時等に、開催場所までの送迎をしている。 <p>■利用者から寄せられている声や感じている課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内高齢者サロン参加者への「困りごと」や「地域のつながり」について、聞き取りを実施している。 ・買物や外出には地域差があり、郊外に住んでいる人は、家族に頼めたりするものの不便を感じている。
<p>生活支援体制 整備事業 聞き取り 調査結果</p> <p>○木皿サロン ○足洗サロン ○下小津田 サロン ○北町サロン ○華川町下相田 サロン</p>	<p>■コロナ禍による日常生活の変化について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親族、友人、知人と会う機会が減った。 ・外出する機会が減った。 ・外食や買物等の回数が減った。 ・買物する時間帯を考えるようになった（人が少ない時間帯に外出）。 ・常会や近所の集まりがなくなり、人と触れ合い機会が減った。 <p>■普段の生活で困っていること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普段は車で買物ができている。 ・家族と一緒に買物に出かけている。 ・巡回バスやタクシー券、病院の送迎バスを利用している。 ・【下小津田】上小津田地区は店が少ないため、通院時に買物をしている。 ・今のところは自分で行っているが、将来できなくなってきたら不安がある。 ・免許返納した後や独居になった場合、買物や通院など生活ができない不安がある。 ・【北町】浜道団地から歩いて買物に行くのは大変である。 <p>■タクシー券について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タクシー券を年間通して利用できるようにしてほしい。（1ヶ月ごとの利用ではなく）→令和5年度から年間を通じて利用可能となった。

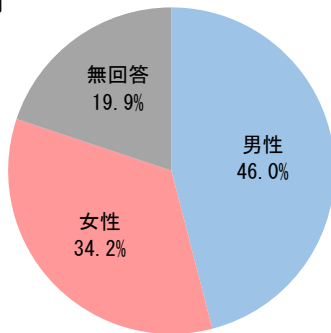
3-4 高校生アンケート調査

調査方法	<ul style="list-style-type: none"> ・調査日 令和4年12月 ・調査方法 磯原郷英高等学校の全生徒に対し、協力を依頼し、配布・回収
調査項目	<ul style="list-style-type: none"> ・回答者の属性（性別、住まい） ・登下校時の交通手段、時間帯、利用バス停 ・公共交通機関の満足度、利用しない理由、改善して欲しい点
回答者数	161件

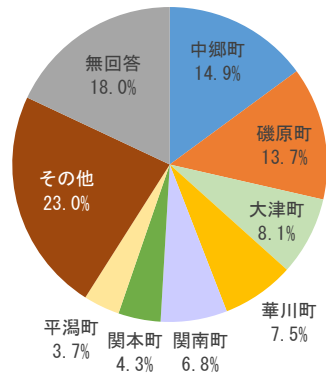
(1) 回答者の属性

「男性」が46.0%「女性」が34.2%と男性の割合が多くなっています。

■性別



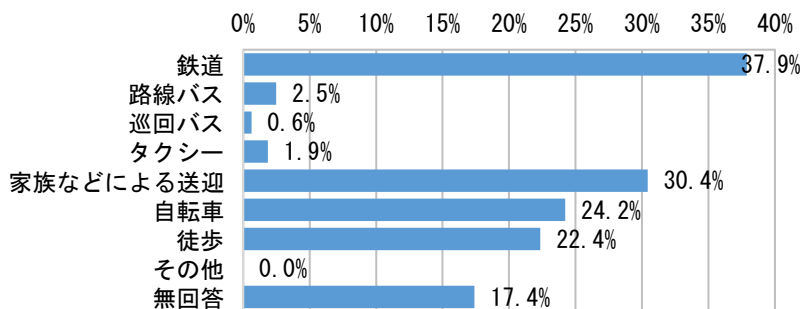
■住まい



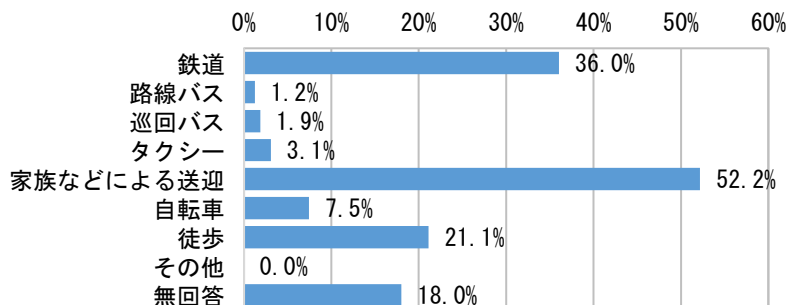
(2) 登下校の交通手段

登下校時の交通手段は、晴天時は「鉄道」が37.9%と最も多く、次いで「家族による送迎」が多くなっています。雨天時は「家族や知人等の車で送迎」が52.2%と最も多くなり、次いで「鉄道」となっています。

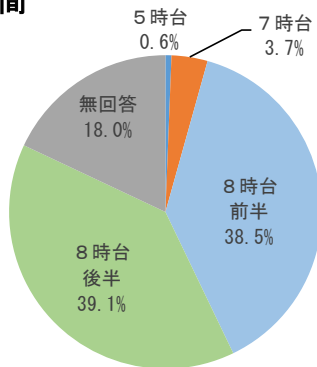
■晴天時



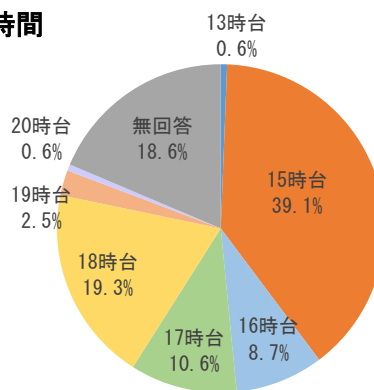
■雨天時



■登校時間



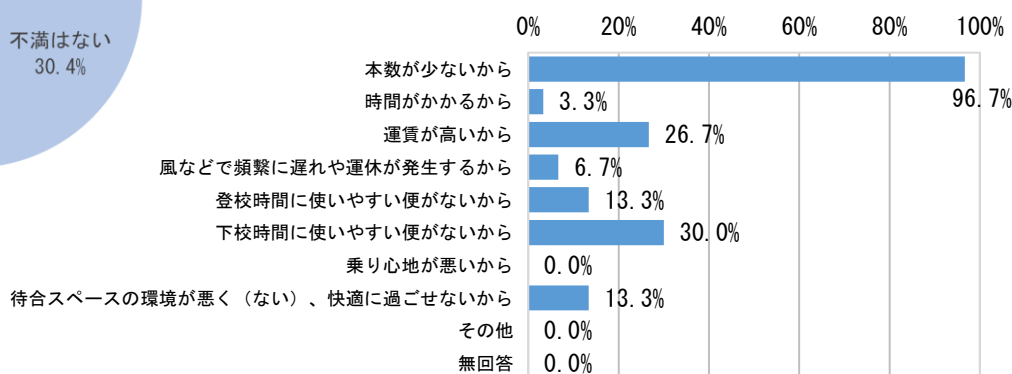
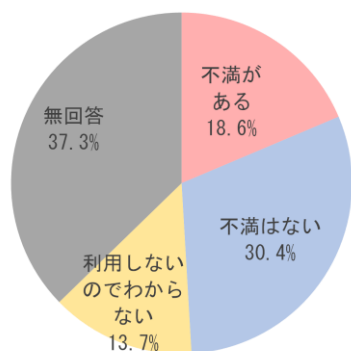
■下校時間



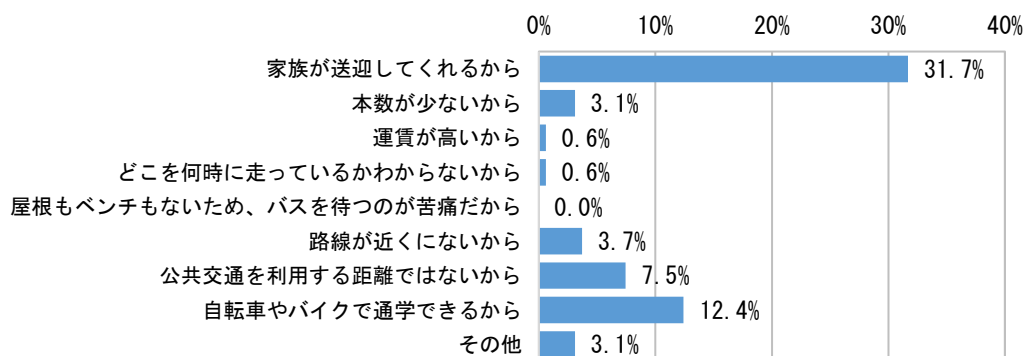
(3) 公共交通（巡回バス）に対する不満と理由

公共交通（巡回バス）に対する不満は、本数が少ないことが大半を占めており、利用しない理由も家族が送迎してくれるからという理由が多くなっています。

■公共交通（巡回バス）に対する不満



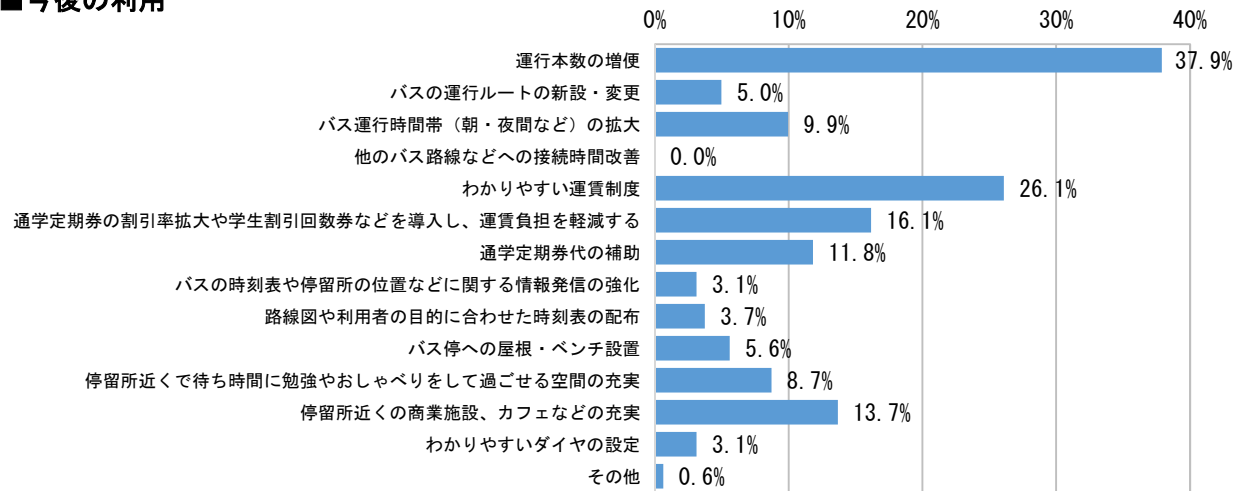
■利用しない理由



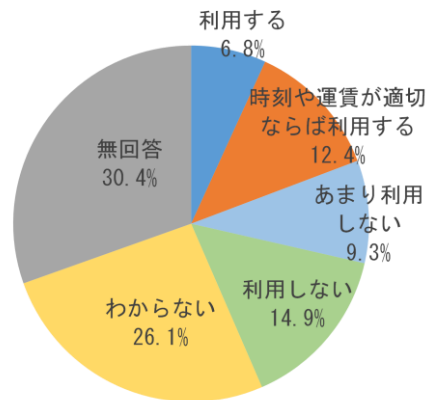
(4) 効果的な取組み

今後の利用促進に向けた取組みとしては、「運行本数の増便 (37.9%)」「わかりやすい運賃制度 (26.1%)」となっています。

■今後の利用



■サービスが改善された場合の今後の利用



3-5 市内企業アンケート調査

3-5-1 企業への調査

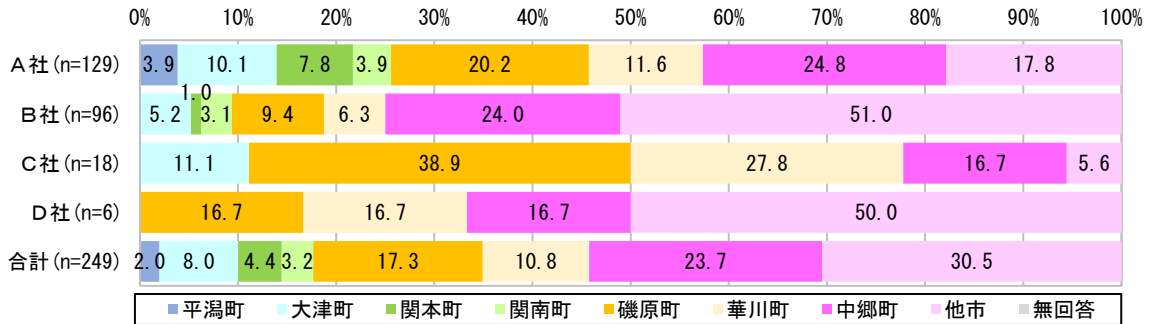
調査方法	企業	<ul style="list-style-type: none"> 調査対象：市内に立地する企業のうち、送迎バスの有無や従業員数等を考慮し、10社程度に依頼し、4社から回答あり。 調査方法：郵送による配布・回収
	従業者	<ul style="list-style-type: none"> 調査対象：選定企業に勤める従業者 調査方法：郵送による配布・回収
調査項目		<p>(企業)</p> <ul style="list-style-type: none"> 会社概要（業種、従業員数、就業時間帯等） 送迎バスの有無と運行ルート及び使用車両 地域貢献としての共同運行の可能性 <p>(従業者)</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人属性（居住地、年齢、性別、自動車保有状況） 通勤実態（通勤時間、利用交通手段） 市巡回バスの認知度と運行サービスに対する満足度 望ましい公共交通と利用するための条件

■企業概要と送迎バスの実施状況等

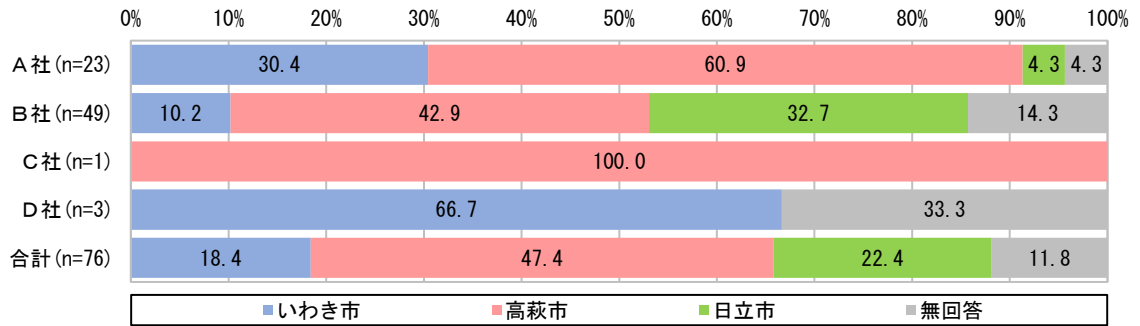
	A社	B社	C社	D社	
所在地	磯原町磯原	中郷町日棚	華川町白場	磯原町磯原	
従業員	—	110名	383名	138名	
勤務体制	定時制	定時制 3交代制	定時制 2交代制	定時制 3交代制	
通勤に対する補助	自動車通勤：距離制 公共交通：実費 自転車・徒歩：なし	自動車通勤：距離制 公共交通：実費 自転車：一律 徒歩：なし	自動車通勤：距離制 公共交通：実費 自転車・徒歩 ：距離制	自動車通勤：距離制 公共交通：距離制 自転車・徒歩 ：なし	
従業員駐車場の有無	あり 無料	あり 有料 (無料1台のみ)	あり 有料	あり 無料(145台)	
従業員用送迎バスの有無	なし	なし	なし	なし	
従業員の通勤のあり方	複数企業による 共同送迎バス運行	思わない	わからない	わからない	そう思う
		思わない	わからない	わからない	そう思う
	マイカー通勤の抑制	ない	ない	わからない	ある
北茨城市の公共交通に関する意見・要望	—	—	—	共同送迎バス運行、路線バス等の公共交通の充実の検討をお願いしたい	

3-5-2 従業員への調査

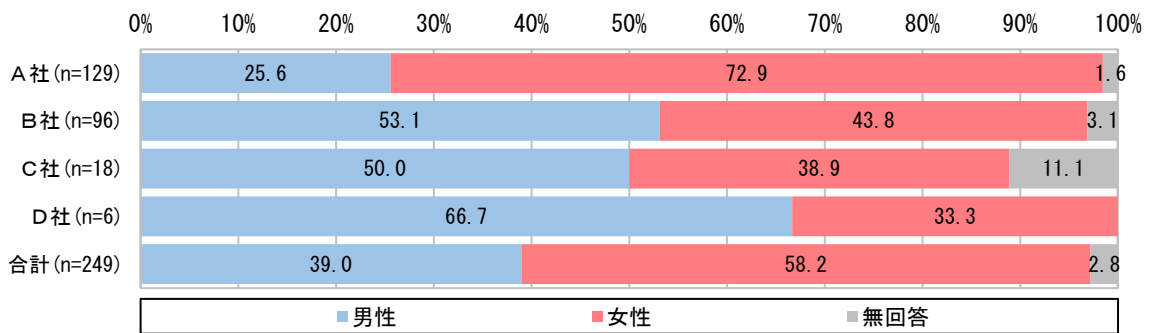
■居住地



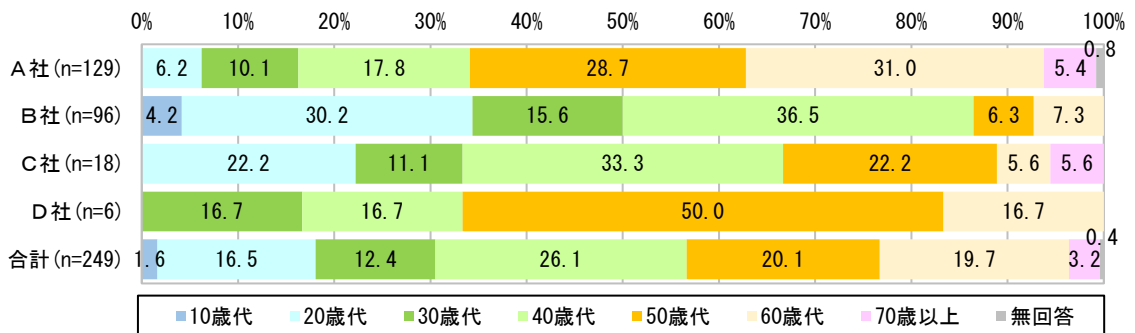
※他市の内訳



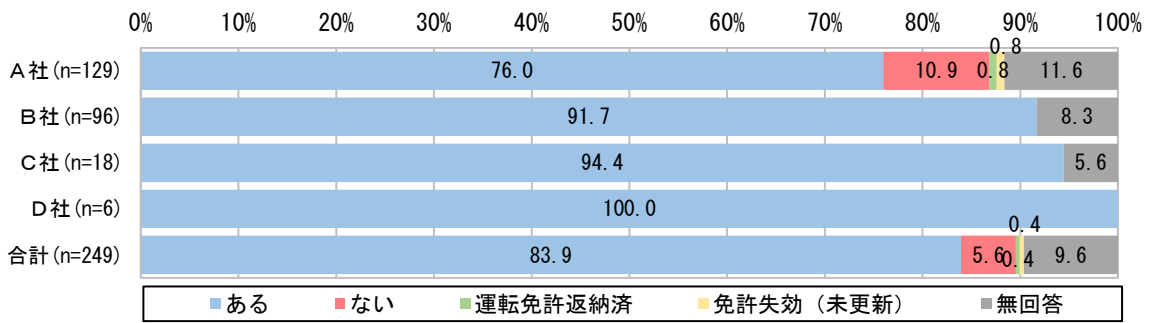
■性別



■年齢



■自動車運転免許

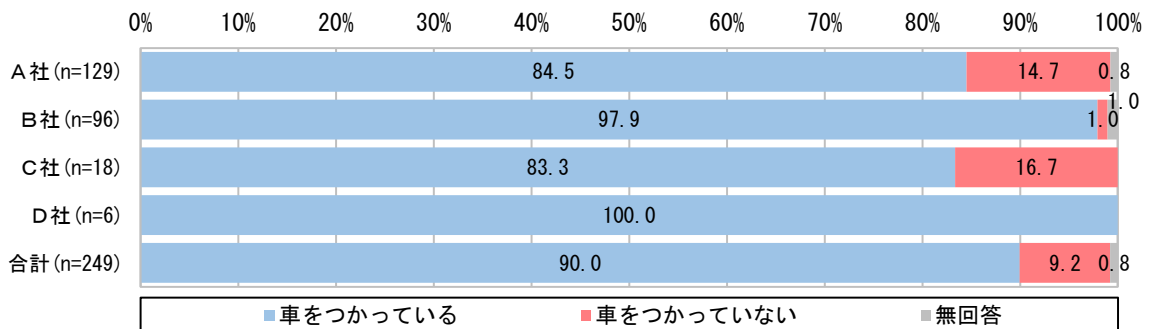


(2) 通勤実態 (通勤時間、利用交通手段)

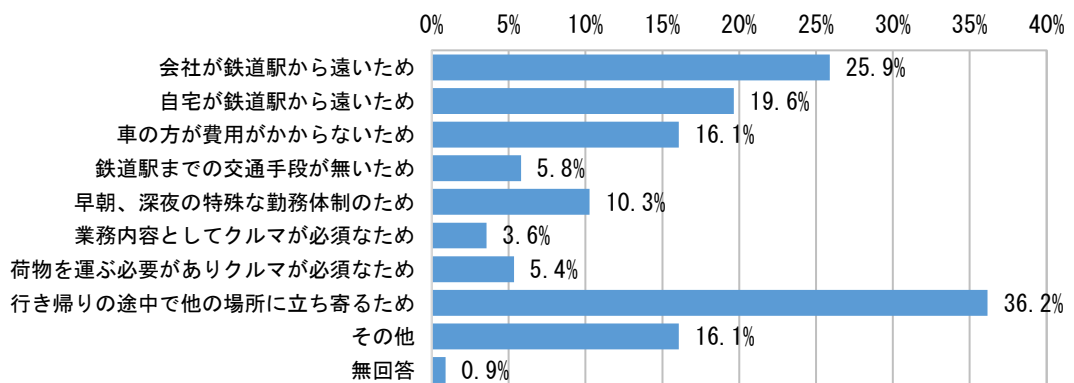
①通勤時の自動車利用の状況

- ・回答者全体の約90%の人が車を使って通勤しています。
- ・車通勤する理由は、「行き帰りの途中で他の場所に立ち寄るため」が最も多く、次いで「会社が鉄道駅から遠いため」が多くなっています。

■車を使っている通勤状況



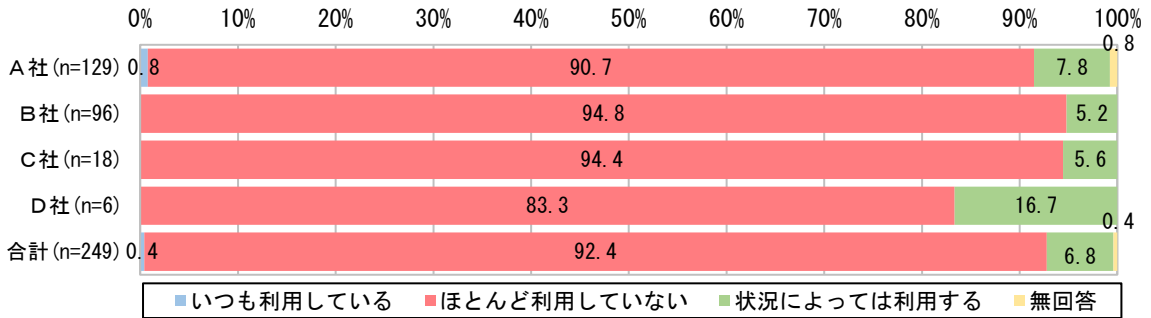
■車通勤する理由 (2つまで回答)



②通勤時の公共交通の利用状況

・公共交通を利用している人は、状況によって公共交通を利用している人を合わせても、10%にも至らず、90%以上の方が通勤時には公共交通を利用していません。

■通勤時の公共交通利用状況

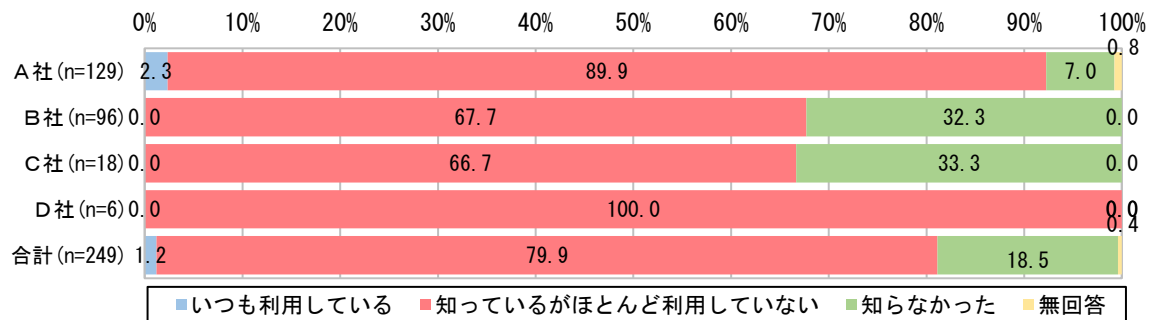


(3) 巡回バスについて

①巡回バスの利用・認知度

・回答者の80%の人は、巡回バスを知ってはいるが、ほとんど利用していません。
 ・回答者の18.5%の人は、巡回バスを知りません。

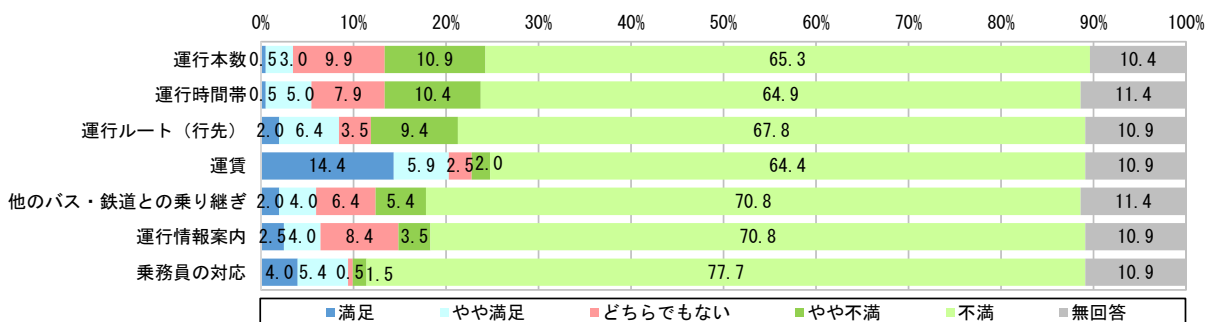
■巡回バスの認知度



②巡回バスの運行サービスの評価

・どの項目も運行サービスに対する評価は、低くなっています。
 ・満足度（「満足」「やや満足」）が高い項目は、運賃となっており、低い項目は、運行本数、運行時間帯となっています。

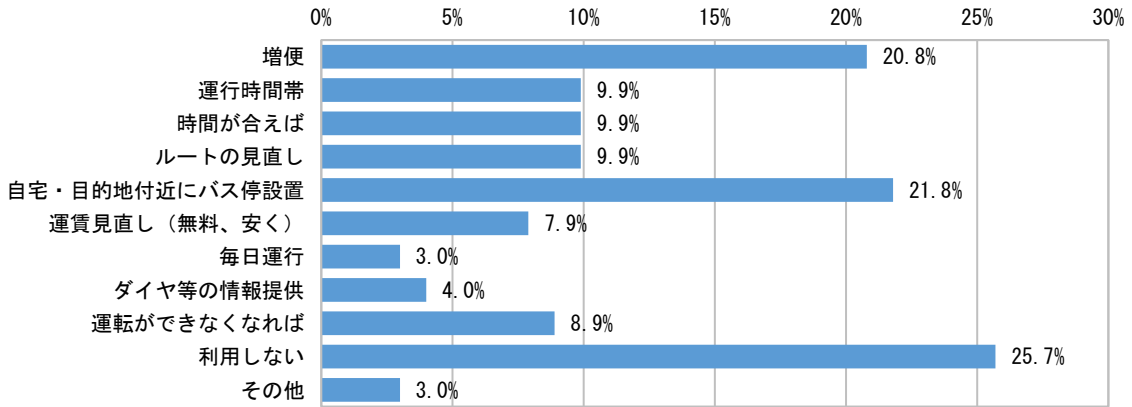
■巡回バスの運行サービスの評価



③巡回バスを利用するための条件

- ・巡回バスを利用するための条件として、運行本数の増便、自宅・目的地付近へのバス停の設置が多くなっています。
- ・運行サービスを改善されても利用しないという意見も多くなっています。

■巡回バスを利用するための条件



3-6 集客施設事業者アンケート調査

<p>宿泊施設</p>	<p>■観光を取り巻く現状や動向、問題点・課題について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNSや市報を活用したイベントの告知・PR ・市内の観光資源に対して周辺に店が少ない。 特に花園神社周辺など観光客はいるが店がない。 ・ライトアップもよいが、観光客の動く時間帯に見られるものを。 ・カフェや土産物など出店補助の実施。秋季限定でもよいのでは。 <p>■宿泊施設の送迎サービスについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・送迎サービスは入込が多い金土休日を対象にチェックイン及びチェックアウトが多い時間（9～10時、14～16時台）に予約があった場合は、磯原駅もしくは大津港駅とホテル間の送迎を実施している。 <p>■観光客等から公共交通について寄せられている声</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電車、バスの本数が少なすぎる。 ・観光路線をつくったらどうか。 磯原駅から国道6号沿いのホテルを經由し、野口雨情記念館、ようそろー、六角堂、美術館、大津港駅
<p>商業施設</p>	<p>■商業を取り巻く現状・動向や問題点・課題について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・買物客が減少傾向のため、売り上げ上昇の見込みが厳しい。 ・若手の就職希望者が少ない。 ・人口減少により、将来オーバーストアになるのでは。 <p>■公共交通との連携・協力について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一部の店舗では、スタンプラリーなどについて協力可能と思われる。 <p>■買物客や店舗からの公共交通についての意見等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・買物客からの意見はない。 ・店舗周辺にバス停があるとよい。
<p>医療施設</p>	<p>■通院の実態</p> <ul style="list-style-type: none"> ・午前中の通院が多い。 ・公共交通利用は通院者の約1割。 <p>■病院による送迎サービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・瀧病院：送迎バスの運行（華川方面と中郷方面に分けて2台で運行） ・廣橋病院：事前の電話予約により、大津港駅までの送迎あり。（1日1便） <p>■公共交通について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院最寄りバス停が遠い。通院者から不満の声もある。 ⇒バス停を増やすなどの検討をお願いしたい。